

日本化学会第 90 春季年会 (2010) のご案内

第 90 春季年会実行委員会

会 期	平成 22 年 3 月 26 日 (金) ~ 29 日 (月)
会 場	近畿大学本部キャンパス (〒 577-8502 東大阪市小若江 3-4-1)
実行委員長	柳 日馨 (大阪府立大学大学院理学系研究科・教授)
日程と内容	3 月 26 日 (金): AP・ATP・受賞講演・特別企画・ポスター・展示会 3 月 27 日 (土): AP・ATP・受賞講演・ポスター・展示会・会長講演・表彰式・懇親会 3 月 28 日 (日): AP・受賞講演・ポスター・展示会 3 月 29 日 (月): AP・特別企画
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 〒 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 会期前 電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 会期中 電話/FAX(06)6224-5560 ※ 3 月 26 日~3 月 29 日 URL: http://www.csj.jp/nenkai/90haru/index.html

上記のとおり、日本化学会第 90 春季年会 (2010) が開催されます。多くの会員の皆様が、本年会にご参加下さいますようお願い申し上げます。本号では、当日登録について、会期中併催のイベント・シンポジウム情報、特別企画・特別講演・学会賞・ATP のプログラムをご案内申し上げます。

本年会における留意点は次のとおりです。1) プログラムを別冊化し、参加者へ配布いたします。同内容は春季年会ウェブサイトでもご覧いただけます。2) 講演予稿集 (冊子体) を 4 分冊化します。お求めの際は収録分野をご確認下さい。

1. 当日登録について

第 90 春季年会へ参加を希望される方は年会会場内の総合受付にて登録手続きを行って下さい。参加登録費等は下表のとおりです。ただし、本誌 P294 ~ 300 に掲載の併催イベントへの参加の場合、第 90 春季年会の参加登録は原則不要です。詳細は掲載ページにてご確認ください。

参加登録費

会員区分	料金	課税区分
正会員	14,500 円	不課税
正会員割引*1	9,500 円	〃
学生会員	5,500 円	〃
学生会員割引*2	3,500 円	〃
教育会員*3	6,500 円	〃
ATP 講演者 (一般)	14,500 円	課税
ATP 講演者 (非会員学生)	7,500 円	〃
非会員	25,500 円	〃
入会準備学部学生*4	2,000 円	〃

*1 満 60 歳以上で定職に就いていない方 (通称: シニア会員)

*2 学部 3 年以内の方 (専攻科 1 年以下の高専生を含む) (通称: ジュニア会員)

*3 教育会員割引 (化学と教育を購読する学生) も含む。

*4 研究発表を行わない非会員 (未入会) の大学の学部学生及び高等専門学校が対象。ただし、参加登録費に講演予稿集 DVD-ROM は含まない。当日登録の際には学生証 (コピー可)

をご提示下さい。

予稿集代・懇親会費

内容	料金	課税区分
予稿集 (I 分冊)	2,500 円	課税
〃 (第 II ~ IV 分冊)	各 3,500 円	〃
〃 (4 冊セット)	10,000 円	〃
予稿集 (DVD-ROM)	10,000 円	〃
懇親会費 (一般)	5,000 円	
〃 (学生)	2,500 円	

* 予稿集 I ~ IV の収録分野については本誌 1・2 月号またはウェブサイトにてご確認ください。

2. 携帯情報端末からのプログラム検索

携帯情報端末からの年会プログラム検索が可能です。キーワードによる検索や、講演の日時、会場別の表示などができます。以下のサイトにアクセスして下さい。

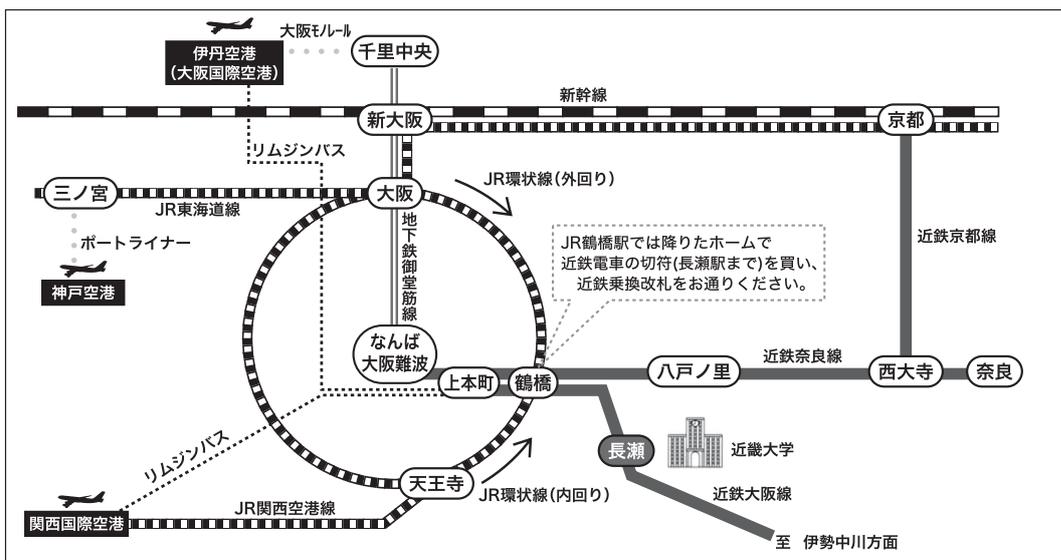
<http://csj.jp/i/>

二次元バーコード (QR コード) 対応の携帯電話をお持ちの方は、以下のバーコードを撮影して、年会プログラム検索の Web ページへアクセスすることが可能です。使用方法につきましては、各ページのヘルプメニューをご覧ください。なお、講演会場内では、携帯電話の電源は OFF にされますようお願い申し上げます。



日本化学会 第90春季年会

近畿大学 本部(東大阪)キャンパス アクセスマップ



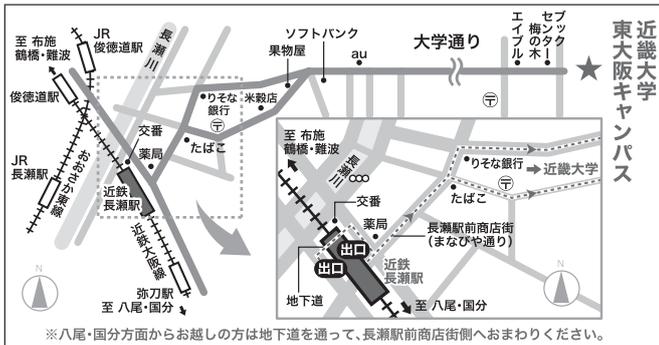
●主要駅・空港からの推奨ルート ※公共の交通機関をご利用下さい。(キャンパス内に駐車場はございません)
 ※長瀬駅にはタクシーはございません。ご利用の場合は近鉄八戸ノ里駅(奈良線)をご利用下さい。

伊丹空港(大阪国際空港)	関西国際空港	新大阪	神戸空港
大阪モノレール 門真市方面行 (12分 ¥320)	バスご利用が便利です	JR東海道本線 三ノ宮方面行 【15・16番のりば】 (4分)	ポートライナー 三宮行 (19分 ¥320)
千里中央 地下鉄御堂筋線 (28分 ¥390)	リムジンバス 近鉄上本町行 (35分 ¥620)	JR関西空港線 (55分 ¥1030) ※料金は鶴橋まで ※「はるか」利用時は 特急料金別	JR三ノ宮 JR東海道線 京都方面行 のため新幹線料金に (22分 ¥620) ※料金は鶴橋まで
地下鉄なんば 近鉄大阪難波 近鉄奈良線奈良方面行 (5分 ¥250) ※料金は長瀬駅まで ※必ず鶴橋駅で【大阪線】 にお乗り換えください	近鉄上本町 近鉄大阪線伊勢中川方面行【地上ホーム】 (11分 ¥250) ※料金は長瀬駅まで ※長瀬駅には各駅停車のみ停車 ※鶴橋駅でのお乗り換えは不要	JR天王寺 JR環状線 内回り 【11・12番のりば】 (5分)	JR大阪 JR環状線 外回り 【2番のりば】 (15分)
JR/近鉄鶴橋			
近鉄大阪線 【2番のりば】「河内国分行」「高安行」「名張行」「榛原行」 (8分 ¥200) ※長瀬駅には各駅停車のみ停車 ※近鉄上本町から近鉄大阪線ご利用の場合は乗換不要			
近鉄長瀬			
近畿大学キャンパスまで徒歩約10分 券売機が混み合いますので帰りの切符を先にご購入ください			

近鉄鶴橋駅時刻表
 近鉄鶴橋駅から長瀬駅までは大阪線【2番のりば】
 「河内国分行」「高安行」「名張行」「榛原行」
 ※長瀬駅に停車する列車の発車時刻

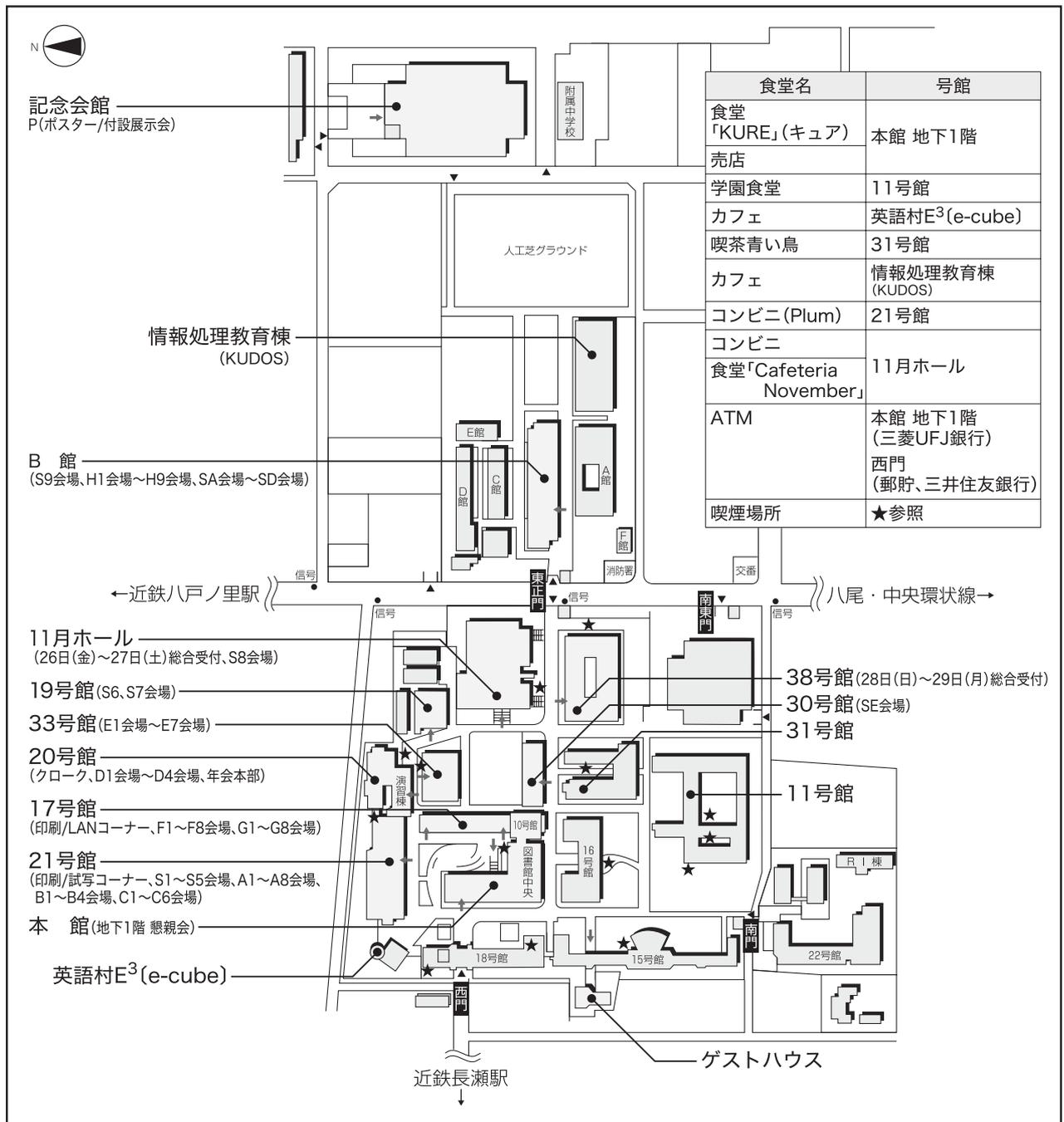
6時台	4	14	29	37	45	59
7時台	8	20	33	46	57	
8時台	3	10	21	31	43	59
9時台	7	20	30	45	59	
10時台	13	23	32	45	59	
11時台	13	23	32	45	59	
12時台	13	23	32	45	59	
13時台	13	23	32	45	59	

2010年1月現在の時刻です。
 2010年3月にダイヤ改正予定のため事前にお確かめ下さい。



日本化学会 第90春季年会

近畿大学 本部(東大阪)キャンパス校舎配置図



■会場案内

会場記号	号館
総合受付 (26日(金)、27日(土))	11月ホール 1階
総合受付 (28日(日)、29日(月))	38号館 1階
クローク	20号館 1階
印刷/試写コーナー	21号館 4階
印刷/LANコーナー	17号館 1階
S1~S5	21号館
S6, S7	19号館
S8	11月ホール
S9	B館

会場記号	号館
SA~SD	B館
SE	30号館
A1~A8	21号館
B1~B4	21号館
C1~C6	21号館
D1~D4	20号館
E1~E7	33号館
F1~F8	17号館
G1~G8	17号館
H1~H9	B館

会場記号	号館
P(ポスター/付設展示会)	記念会館
懇親会	本館 地下1階
年会本部	20号館 2階

日本化学会第90春季年会

建物名・フロア	教室名	会場記号	3月26日(金) 午前	P	3月26日(金) 午後	3月27日(土) 午前	P	3月27日(土) 午後			
21号館	2F	203	A1/S1		PB	T8.未来産業を支えるバイオケミカルズ					
		204	S2			委) ナカニシシンポジウム		特講) Prof. Dieter Seebach	中) 天然物の全合成		
	3F	205	A2/S3	企) 新薬創製		企) 化学と未来医療		09.天然物 & アジア国際シンポジウム(天然物)		EV) ゲノムケミストリー	
		312	A3	T5A.物質・エネルギー変換材料-生体触媒			T5B.物質・エネルギー変換材料-ナノバークリテックテクノロジー				
		313	A4	T2A.ディスプレイ用材料-OLED							
		314	A5	T2B.ディスプレイ用材料-電子ペーパー			09.天然物				
		315	-	休憩室							
		318	A6	T4.デジタルファブリケーションへの取り組み最前線							
		319	A7	T1A.微細パターン化技術と材料の織成す未来像-次世代リソグラフィ			T1C.微細パターン化技術と材料の織成す未来像-微細パターン形成				
		320	A8/S4				委) 倫理シンポジウム		T1B.微細パターン化技術と材料の織成す未来像-ナノインプリント		
		422	B1/S5				中/委) 超分子金属錯体 / 助的錯体の機能制御		09.天然物		
		423	B2	06.錯体化学・有機金属化学							
	4F	424	B3	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー							
		431	-	印刷コーナー/試写コーナー							
		432	-	休憩室							
		433	B4	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー							
		534	C1	06.錯体化学・有機金属化学							
	5F	535	C2	06.錯体化学・有機金属化学							
		536	C3				14.コロイド・界面化学		PC	14.コロイド・界面化学	
		539	C4	05.無機化学		PB		05.無機化学			
541		C5				14.コロイド・界面化学		PC	06.錯体化学・有機金属化学		
645		C6				14.コロイド・界面化学		PC	14.コロイド・界面化学		
20号館	1F	20-001	クローク (08:30~)								
	2F	2Aと2B	年会本部 (08:15~)								
	3F	20-002	D1				13.触媒				
		20-006	D2				13.触媒				
	4F	20-003	D3	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー							
20-007		D4	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー								
33号館	3F	33-301	E1	02.物理化学-構造		PB		02.物理化学-構造			
		33-302	E2	04.物理化学-反応				04.物理化学-反応			
		33-303	E3	04.物理化学-反応				04.物理化学-反応			
		33-304	E4					PA	07A.有機化学-構造と物性		
	4F	33-401	E5	07A.有機化学-構造と物性			PA			07A.有機化学-構造と物性	
		33-402	E6	07B.有機化学-反応機構			PA			07A.有機化学-構造と物性	
		33-405	-	休憩室							
33-406	E7	07A.有機化学-構造と物性			PA			07A.有機化学-構造と物性			
17号館	1F	学生談話室	-	印刷コーナー/LANコーナー							
		17-102	F1	08E.有機化学-有機金属化合物			PB			08E.有機化学-有機金属化合物	
		17-103	F2	08E.有機化学-有機金属化合物						08E.有機化学-有機金属化合物	
		17-104	F3	08E.有機化学-有機金属化合物						08E.有機化学-有機金属化合物	
		17-105	F4				08F.有機化学-有機光化学			08F.有機化学-有機光化学	
	2F	17-201	F5	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物						08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物	
		17-202	F6	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物			08H.有機化学-ハイスループット合成		08H.有機化学-脂肪族・脂環式化合物		
		17-203	F7	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物						08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物	
		17-204	F8				11.分析				
		17-205	-	休憩室							
	3F	17-301	G1	08G.有機化学-有機電子移動化学			PB			08B.有機化学-芳香族化合物	
		17-302	G2				08C.有機化学-複素環化合物			08C.有機化学-複素環化合物	
		17-303	G3	08D.有機化学-ヘテロ原子化合物						08D.有機化学-ヘテロ原子化合物	
		17-304	G4				12.高分子				
	4F	17-401	G5	15.材料化学						PC	15.材料化学
		17-402	G6	16.材料の機能						PC	16.材料の機能
		17-403	G7	17.材料の応用						PC	17.材料の応用
17-404		G8				12.高分子					
19号館	2F	19-001	S6				学会賞受賞講演		市民公開講座-身のまわりの化学-		
	3F	19-002	S7	企) 固液界面の溶液構造		企) ソフト界面若手講演会		委) 分子技術イニシヤティブ			
11月ホール	-	ロビー	総合受付 (3/26~3/27まで 8:15~17:00)								
38号館	-	大ホール	会長講演・表彰式・演奏会								
B館	1F	101	H1/S9	企) 分子集積システムにおける協同的機能		企) ナノ粒子の深化と応用		22.有機結晶		PC	22.有機結晶
		201	H2/SA				T7C.低炭素社会を実現する新エネルギー技術-次世代太陽電池		EV) フォトメカニカル		
		202	-	休憩室							
	2F	203	H3	T7B.低炭素社会を実現する新エネルギー技術-燃料電池・水素エネルギー技術							
		204	H4	T7A.低炭素社会を実現する新エネルギー技術-次世代蓄電技術			PA		20.環境・グリーンケミストリー、地球・宇宙化学		
	3F	301	H5	T3.フォトリソ材料・デバイスがもたらすFace-to-Faceコミュニケーションの世界						T3.フォトリソ材料・デバイス	
		401	H6/SB	19.エネルギーとその関連化学			PB		19.エネルギーとその関連化学		
	4F	402	H7/SC	T6B.未来を創る環境・資源テクノロジー-資源を考慮した材料戦略			T6A.未来を創る環境・資源テクノロジー-革新的省エネ省資源プロセス				
		403	H8/SD	T6C.環境の保全・浄化・分析のための新技術		PB		T6C.環境の保全・浄化・分析のための新技術		01.化学教育・化学史	
	5F	404	-	休憩室							
		501	H9	21.理論・情報・計算化学		PC		21.理論・情報・計算化学			
	502	-	休憩室								
	30号館	3F	学生実験室	SE	第42回国際化学オリンピックイベント 化学実験カーがやってくる						
記念会館	1F	フロア	P	ポスター/付設展示会/出展社セミナー							
	2F	客席	-	休憩室							

- 分類名の前の数字/記号...[01-22...アカデミック・プログラム],[T1-T9...ATP],[企...特別企画],[中...中長期テーマ],[委...委員会企画],[EV...イブニングセッション],[特講...外国人特別講演]
- 会場記号...[企、中、委、EV、特講、化学実験カー]の実施時のみS1~SE会場として使用。それ以外はA1~H9会場として使用
- ポスター...体育館にて3月26日-28日の3日間で実施。時間帯はPA(10:00-11:30)、PB(12:30-14:00)、PC(15:00-16:30)の3種類

(2010) 日程表

2010/2/16

3月28日(日) 午前		P	3月28日(日) 午後		3月29日(月) 午前		3月29日(月) 午後		教室名	会場記号	
			中) 複合的食品機能	企) 低次元無機-有機複合系	企) 光合成によるエネルギー物質生産				203	A1/S1	
			中) 二酸化炭素固定化反応	中) ケミカルバイオロジー					204	S2	
			委) 化学遺産市民公開講座							205	A2/S3
09.天然物		PC	09.天然物							312	A3
09.天然物			09.天然物							313	A4
			09.天然物							314	A5
									315	-	
									318	A6	
									319	A7	
									320	A8/S4	
10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー						422	B1/S5	
		PA	06.錯体化学・有機金属化学						423	B2	
		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー						424	B3	
									431	-	
									432	-	
		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー						433	B4	
		PA	06.錯体化学・有機金属化学						534	C1	
			06.錯体化学・有機金属化学						535	C2	
			アジア国際シンポジウム(コロイド)	14.コロイド・界面化学					536	C3	
			アジア国際シンポジウム(錯体/無機)	06.錯体化学・有機金属化学					539	C4	
14.コロイド・界面化学									541	C5	
									645	C6	
									20-001	-	
									2A と 2B	-	
		PB	13.触媒							20-002	D1
			13.触媒							20-006	D2
		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー						20-003	D3	
			10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー						20-007	D4	
									33-301	E1	
									33-302	E2	
									33-303	E3	
									33-304	E4	
									33-401	E5	
									33-402	E6	
									33-405	-	
									33-406	E7	
									学生談話室	-	
									17-102	F1	
									17-103	F2	
									17-104	F3	
アジア国際シンポジウム(光化学)									17-105	F4	
									17-201	F5	
08A.有機化学-脂脂肪族・脂環式化合物									17-202	F6	
									17-203	F7	
		PB	11.分析							17-204	F8
										17-205	-
									17-301	G1	
									17-302	G2	
									17-303	G3	
		PB	12.高分子							17-304	G4
			アジア国際シンポジウム(材料化学)	15.材料化学					17-401	G5	
									17-402	G6	
					16.材料の機能				17-403	G7	
		PB	12.高分子							17-404	G8
学会賞受賞講演			委) 学術の展望と政策提言							19-001	S6
			委) 男女共同参画の過去・現在・未来							19-002	S7
									ロビー	-	
									大ホール	S8	
総合受付 (3/28~3/29まで 8:15~17:00)									ロビー	-	
			委) 年会博士セミナー	企) 先端計測科学の挑戦					101	H1/S9	
中) 人工光合成の未来					企) 持続可能な社会を支える化学					201	H2/SA
									202	-	
18.資源利用		PB	18.資源利用							203	H3
			アジア国際シンポジウム(環境)	20.環境・グリーンケミストリー, 地球・宇宙化学					204	H4	
									301	H5	
			委) 環境安全シンポジウム						401	H6/SB	
委) 産学シミュレーション									402	H7/SC	
01.化学教育・化学史		PB	01.化学教育・化学史							403	H8/SD
			アジア国際シンポジウム(理論化学)							404	-
									501	H9	
									502	-	
									学生実験室	SE	
									フロア	P	
									客席	-	
3月28日(日) 午前		P	3月28日(日) 午後		3月29日(月) 午前		3月29日(月) 午後		会場記号		

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月27日(土) 13:40-15:20
会場：S8 会場 11 月ホール
13:40-14:10 会長講演「統合と細分の知・情報・発信・人材：化学と化学会の機能強化」
平成 22, 23 年度会長 岩澤 康裕
14:20-15:20 表彰式

スプリングコンサート2010 —管弦楽と吹奏楽の共演—

日時：3月27日(土) 16:00-17:45
会場：S8 会場 11 月ホール
1. 化学オーケストラ：日本化学会会員を中心に、広く化学関係者で 2002 年に結成された団体で、日本化学会春季年会会期中に「スプリングコンサート」を毎年開催しています。
曲目：モーツァルト/ディベルティメント K.138, モーツァルト/交響曲第 32 番 ト長調 K.318, J. シュトラウス II/皇帝円舞曲。
2. 近畿大学吹奏楽部：全日本吹奏楽コンクールでは過去 5 年連続金賞受賞による 3 度の特別演奏を含め、通算 25 回出場、18 回の金賞を受賞しており、定期演奏会、ポップスコンサートをはじめ、海外との文化交流や国際親善の活動も盛んです。
曲目：コットンテール、スリーピーラグーンほか (Big Band Stage), A 列車で行こう、オペラ座の怪人ほか (Wind Band Stage)。

ATP交流会 Open NetworkからOpen Collaboration, そしてOpen Innovationへ

日時：3月26日(金) 18:00-19:30
会場：本館食堂 KURE (近畿大学本部キャンパス内)

ATP 発表会場での講師や参加者とのディスカッションや交流の不足分を、フォローアップを含めて、補っていただく目的で、カジュアルな場として交流会を設けました。あわせて、異業種間や産官学間の交流やネットワーク形成の場としての ATP について知っていただく機会ともなっております。どなたでもご参加いただけますので、この場を活用して、将来の共同研究や事業展開、イノベーションの種を見つけましょう。

参加費：無料
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込み不要。直接会場へお越し下さい。

懇親会

日時：3月27日(土) 18:00-20:00
会場：本館食堂 KURE (近畿大学本部キャンパス内)

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。

近大水産研が開発した新種の鯛キンダイ (近大様ご提供)、さらには世界初の完全養殖で有名な近大マグロをご賞味いただけますのでぜひともご参加下さい。先生方におかれましては学生参加費は低く抑えておりますので、ぜひ一緒にご参加いただけますと幸いです。

参加費：一般 5,000 円、学生 2,500 円
申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。

第42回国際化学オリンピック プレイベント 化学実験カーが やってくる@春季年会

協力：化学オリンピック日本委員会/化学教育協議会近畿支部
日時：3月26日(金)
1) 10時, 2) 11時, 3) 13時, 4) 14時, 5) 15時
会場：SE 会場 30 号館 学生実験室

日本化学会第 90 春季年会 (2010) 実行委員会では、2010 年 7 月に開催が迫った第 42 回国際化学オリンピック東京大会のプレイベントである「化学実験カーがやってくる」を化学オリンピック日本委員会及び化学教育協議会近畿支部の協力のもと実施することになりました。様々な実験を通し、参加する小・中学生に化学の面白さを発見してもらえる機会となることを期待しております。会員各位ご関係の方に是非ご参加をお勧め下さい。

プログラム

「オリジナルスタンプづくり」「水の上で動く紙の船」「なんでも太陽コピー」「身近なものを使った水の電気分解」など、いろんな実験の中からいくつか体験していただきます。高校・大学の教員が丁寧に指導します。

対象：小学生・中学生

参加費：無料

申込方法：「3/26 実験カー」と題記し、希望時間・氏名・学年・住所・電話番号を明記の上、FAX もしくは E-mail にてお申し込み下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 太田

電話 (03) 3292-6163 FAX (03) 3292-6318

E-mail: oota@chemistry.or.jp

市民公開講座

日時：3月27日(土) 13:15-17:00
会場：S6 会場 19 号館 19-001 教室

日本化学会第 90 春季年会 (2010) 実行委員会では、一般市民の方を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

13:15-13:20 開会の辞 (カネカ) 中川佳樹

13:20-14:10 クロマグロの完全養殖 (近畿大学水産研究所・所長) 村田 修氏

14:10-15:00 アルカリ乾電池 EVOLTA (エボルタ) (パナソニック (株) エナジー社乾電池 BU・主事) 岡田忠也氏

15:20-16:10 ダチョウ力 (ちから) (京都府立大学生命環境科学研究科・教授) 塚本康浩氏

16:10-17:00 価値ある機能性食品素材 コエンザイム Q10 (CoQ10) (カネカ QOL 事業部・幹部職) 細江和典氏

参加費：無料

申込方法：事前申込み不要。当日会場にて受付。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話 (03) 3292-6163 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

工場見学バスツアー ～モノづくり企業 in 東大版

日時：3月29日(月) 10:30-15:30

技術力の高いモノづくり企業が集積している大阪東部地域を訪ね、総合的な支援施設である「クリエイション・コア東大阪」やユニークな技術・製品を生み出している企業の見学を行います。十分楽しんでいただける半日になりますので、奮ってご参加下さい。

プログラム

10:20 集合 (近畿大学本部キャンパス南東門)
10:50-13:00 クリエイション・コア東大阪
13:15-14:00 マイティ(株)
14:15-15:00 クラスターテクノロジー(株)
15:30 解散 (近畿大学本部キャンパス南東門)

参加費：1,000円 (現地で徴収します)

定員：25名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法：「3/29 工場見学」と題記し、氏名・所属・電話番号・E-mailを明記の上、E-mailにてお申し込み下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 太田
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: oota@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：(社)日本化学会

協力：(株)化学工業日報社

後援：日本科学機器団体連合会・(社)日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・(社)日本試薬協会

日時：3月26日(金)～28日(日) 10:00-17:00

会場：記念会館

参加費：無料

出展社：(1月20日現在)

(株)アイシス、(株)IDX、朝日分光(株)、アジレント・テクノロジー(株)、アステック(株)、(株)アントンパール・ジャパン、(株)イーシーフロンティア、インタクト(株)、インフォコム(株)、米国法人 Wavefunction, Inc., NPG ネイチャーアジア・パシフィック、(有)エル・エイソフト、(株)エル・エム・エス、エルゼビア・ジャパン(株)、オーシャンフォトニクス(株)、大塚電子(株)、(株)オプティマ、オプトシリウス(株)、化学オリンピック日本委員会、(独)科学技術振興機構、(財)化学技術戦略推進機構/経済産業省製造産業局 化学課、(株)化学工業日報社、(社)化学情報協会、(株)化学同人、関東化学(株)、京都電子工業(株)、(有)桐山製作所、コンプレックス(株)、サイバネットシステム(株)、サンヨー電子(株)、CRC Press/Taylor and Francis Group、シグマアルドリッチ ジャパン(株)、四国計測工業(株)、システム・インストルメンツ(株)、柴田科学(株)、シュプリンガー・ジャパン(株)、純正化学(株)、(株)スギヤマゲン、(株)セントラル科学貿易、(株)創晶、ダイセル化学工業(株)、WDB(株)、(株)デジタルデータマネジメント、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、東京工業大学、長瀬産業(株)、ナカライテック(株)、ナノフュージョン(株)、日機装(株)、ニッコー・ハンセン(株)、日本アールソフトデザイングループ(株)、(社)日本化学会 会員委員会、(社)日本化学会 学術情報部、(社)日本技術士会 化学部会、日本電子(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、バイオタージ・ジャパン(株)、(株)パキューブランドサイエンティフィック ジャパン、PACIFICHEM 2010 公式旅行代理店 日本旅行、浜松ホトニクス(株)、ビー・エー・エス(株)、ビーエルテック(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、ヒドラス化学(株)、富士シリシア化学(株)、(株)フレックス、ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク、丸善(株)卸営業部、丸善(株)出版事業部、山善(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、ユラボジャパン(株)、(株)ライトストーン、(株)リガク、(株)菱化システム、(株)レッツェ、Royal Society of Chemistry、(株)ワイエムシイ、ワイリー・ジャパン、和光純薬工業(株)、渡辺化学工業(株)

付設展示会出展社セミナー

主催：(社)日本化学会

協力：(株)化学工業日報社

日時：3月26日(金)～27日(土)

会場：記念会館 付設展示会場内 特設会場

参加費：無料

プログラム

3月26日(金)

11:30-12:00 『高分解能・高精度 Spiral-TOFMS で質の高い構造情報を！』 日本電子(株)

13:00-13:30 『日機装の粉粒体物性評価装置(粒度分布・ゼータ電位・SEM)による測定事例・技術のご紹介』 日機装(株)

13:30-14:00 『企業内試験施設の ISO/IEC17025 認定について』 ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク

14:00-14:30 『ADF[®]を用いた有機 EL 発光材料の計算機シミュレーション』 (株)菱化システム

14:30-15:00 『SciFinder 最新事情～機能強化を中心に～』 (社)化学情報協会

15:00-15:30 『新型マイクロ波合成装置 monowave300 のご紹介』 (株)アントンパール・ジャパン

15:30-16:00 『アジレントのイノベーション 分ける・見つける・推定する：埋もれてしまった情報がぐっつきりと見えてくる。アジレントの MS (GC/MS, LC/MS, CE-MS) による多変量解析ソリューション (MPP)』 アジレント・テクノロジー(株)

3月27日(土)

11:00-11:30 『高速分光製品とクライオスタートのご紹介』 (株)ユニソク

11:30-12:00 『CONFLEX と Gaussian の連携活用～配座探索の重要性～』 コンプレックス(株)

13:00-13:30 『連続流れ分析法を用いた環境計測適応事例のご紹介(海洋化学及び環境水一般)』 ビーエルテック(株)

13:30-14:00 『アジレントのイノベーション 分ければわかる：超高速液体クロマトグラフで化成品や不純物を数十秒で綺麗に分離』 アジレント・テクノロジー(株)

天然物および生物有機化学に関する ナカニシシンポジウム2010

主催：ナカニシシンポジウム組織委員会

日時：3月26日(金) 13:00-17:30

会場：S2 会場 21 号館 204 教室

ナカニシシンポジウムは、日本化学会と米国化学会との取り決めにより偶数年は日本で、奇数年は米国にて表彰されるナカニシ・プライズの受賞講演を含み、日米で交互に開催されている。本プライズは生物活性天然物の単離、構造解析、生物機能、生合成及び全合成分野での顕著な研究業績を対象に選考され、本年度は本化学会に設置された選考委員会によって、山村庄亮教授(慶応大学名誉教授)に授与されることに決定した。本企画は、選考理由である「植物の就眠運動に関する化学的解明などの天然物化学における貢献」に基づき、受賞者による講演に加えて、関連する最新の研究成果を紹介していただく。

プログラム

13:00-13:30 ナカニシ・プライズ授賞式

(ナカニシ・プライズ 2010 受賞者) 山村庄亮

座長 北原 武

13:30-14:10 一筆書きの天然物(東工大院理) 鈴木啓介

14:10-14:50 植物と微生物の新規シグナル化合物

(名大農) 坂神洋次

座長 梅澤一夫

15:00-15:40 動物の行動を制御する香りやフェロモン物質の同定及びその受容機構(東大院新領域) 東原和成

15:40-16:20 植物の生活環境に関する生理活性物質の構造と機能(筑波大生命環境) 繁森英幸

座長 橘 和夫

16:30-17:30 受賞講演 化学の目で見る植物の運動(慶応大名誉) 山村庄亮

参加費：無料

申込方法：事前申込み不要。当日会場にて受付。

問合せ先：(社)日本化学会 企画部 井植田

電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318

E-mail: ihida@chemistry.or.jp

科学者・技術者の倫理と 社会的責任を考える(6)

主催：日本化学会倫理委員会

日時：3月26日(金) 13:00-17:00

会場：S4 会場 21 号館 320 教室

科学者・技術者コミュニティである理工系の学協会は、人類の安全・健康、福祉の増進や環境保全のために重要な役割を果たすことが期待され、それぞれの領域に応じた「行動規範」「科学者・技術者倫理」を確立することが、その学協会が社会から受容されるための必要条件となっている。本シンポジウムでは、産業界において活躍するすべての科学者・技術者が本来身につけていなければならない倫理とは何かを考え、それを定着させるためのスキームについて、様々な観点から議論を展開し、学会としての今後の取り組み方を考えてみたい。

プログラム

開会挨拶 13:00-13:05

(日本化学会倫理委員会委員長) 山本嘉則

第1部 (司会 寺部 茂)

講演 1. 化学者と化学技術者の倫理 13:05-13:45

(本会倫理委員会委員/元住友化学(株)) 志賀昭信

講演 2. リスクの評価と工学倫理 13:45-14:35

(近化協 化学技術アドバイザー/阪大工 (非常勤)/元クラレほか) 宮本 靖

<休憩> 14:35-14:45

第2部 (司会 後藤達乎)

講演 3. 技術者と法規 14:45-15:25

(近化協 化学技術アドバイザー, 広島大 (非常勤), 元住友化学ほか) 菅原啓高

講演 4. 知的財産権と工学倫理 15:25-16:05

(近化協 化学技術アドバイザー, 神戸大工・青学大理工 (非常勤), 元ダイセル化学工業ほか) 稲葉伸一

パネル討論—すべての科学者・技術者が備えるべき「倫理」を考える 16:10-16:55

コーディネーター 中村収三

パネリスト 志賀昭信・宮本 靖・菅原啓高・稲葉伸一・

山本嘉則

閉会挨拶 16:55-17:00

(日本化学会倫理委員会委員) 後藤達乎

参加費: 無料

申込方法: 事前申込み不要。当日会場にて受付。

問合せ先: (社)日本化学会 企画部 井樋田

電話 (03)3292-6163 FAX (03)3292-6318

E-mail: ethics@chemistry.or.jp

動的金属錯体の機能制御 —価数制御と電子移動—

日時: 3月26日(金) 17:20-19:00

会場: S5 会場 21 号館 422 教室

光・電気物性や磁性に基づくすべての機能は、電子(スピン)の配列や移動に起因していると言っても過言ではない。言い換えれば、いかに局在電子の配列や電子移動を自在に制御するかが、多様な機能を発現させる鍵となる。柔軟な電子構造をもつ金属錯体は、構造と電子状態の強い相関を示すことから、熱や光などの外場や化学刺激、分子構造変化を駆使して電子を動的に操るのに最も適した物質系の一つである。本シンポジウムでは、金属錯体における電子の価数配列と電子移動の制御による動的機能の発現に焦点を絞り、この分野の最前線で活躍している若手研究者の講演をとおして、今後の機能分子科学の将来展望を議論する。

プログラム

17:20-17:45 配位組み替え設計による分子構造変換と単電子駆動 (東大院理) 久米晶子

17:45-18:10 酸化状態の双安定性を利用した固体中での機能発現 (東北大院理) 高石慎也

18:10-18:35 金属多核錯体における分子内電子移動の外場制御 (筑波大院数物) 二瓶雅之

18:35-19:00 レドックス活性錯体液体液晶の動的機能 (北大院理) 張浩徹

その他: 中長期企画「超分子金属錯体—超分子構造から機能への展開—」との連動企画となっております。

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2010

主催: 化学系学協会刊行フォーラム・Wiley VCH

日時: 3月27日(土) 11:10-12:00

会場: F5 会場 (2F5-14) 17 号館 201 教室

日本の化学関係8学協会(高分子学会, 電気化学会, 日本生物工学会, 日本農芸化学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 有機合成化学協会, 日本化学会)では学協会を結ぶ先鞭の共同事業として総合論文誌“The Chemical Record”を刊行いたしました。新しい編集体制の下, 新編集委員長が講演を行います。

プログラム

11:10-12:00 ポリケチドの迅速合成と天然物合成への応用(シカゴ大理) 山本 尚

参加費: 年会登録者に限る。

申込方法: 当日会場にお越し下さい。事前申込み不要。

問合せ先: (社)日本化学会 企画部 企画部 TCR 係

電話 (03)3292-6163 FAX (03)3292-6318

E-mail: tcr@chemistry.or.jp

日本化学会・科学技術振興機構合同 特別公開シンポジウム 「分子技術イニシャティブ」

主催: 日本化学会・科学技術振興機構

日時: 3月27日(土) 13:30-17:20

会場: S7 会場 19 号館 19-002 教室

環境・エネルギー・生活・持続可能社会の課題に向け様々なアプローチがなされています。当シンポジウムでは「分子科学」に「分子技術」を対比させます。「分子科学」を物理・化学・生物の分野及び先端精密生産技術と融合させ、さらに社会との接点へ展開するとき、そこには新しい語「分子技術」で表現される広大な未知領域が描かれます。Molecular Technology。

これを、国家の基盤となる一大技術集積とし、将来の環境・エネルギー・生活の課題に具えることが大きな目標となります。諸外国ではまだ積極的に意識されていないこの目標を、世界に先駆け抽出することがこのシンポジウムの目的です。

プログラム

座長 村井眞二(奈良先端大)

【1. 分子技術コンセプト】(13:30-14:15)

1-1 技術俯瞰における分子技術の多面性 (JST, NEC) 曾根純一

1-2 国家の基幹技術としての分子技術 (東大理) 中村栄一

1-3 分子科学から分子技術へ (東大工) 相田卓三

座長 山本 尚(シカゴ大)

【2. 形状・構造制御にもとづく分子技術】(14:20-14:50)

2-1 バイオ系・医療系での分子技術 (東大薬) 長野哲雄

2-2 無機・有機複合系での分子技術 (京大工) 北川 進

座長 佐藤勝昭(東京農工大)

【3. 電子状態の精密制御を可能にする分子技術】

(15:00-15:45)

3-1 さらなる期待を集める分子エレクトロニクス (住友化学筑波研) 大西敏博

3-2 自発光柔軟表示システムの市場と開発競争—分子フォトンクスへの期待 (NHK 技研) 時任静士

3-3 無機・有機複合系の電子状態制御 (東京理科大) 福山秀敏

座長 藤田照典(三井化学)

【4. 変換分子技術・プロセス分子技術】(16:10-16:25)

4-1 グリーンテクノロジーと分子技術 (東工大資源研) 辰巳敬

座長 西村伸太郎(アステラス製薬)

【5. 集合体・複合体の制御にかかわる分子技術】(16:25-16:55)

5-1 汎用新バイオ技術の開発と創薬への期待 (東大先端研) 菅裕明

5-2 さらなる期待を集める膜技術 (東レ地球環境研) 辺見昌弘

座長 諸熊奎治(京都大・エモリー大)

【6. 分子設計・機能設計に基づく分子創成】(17:00-17:15)

6-1 超高速計算機がもたらす分子技術の革新 (理研次世代分子理論ユニット) 平尾公彦
座長 玉尾皓平 (理研)
【7. 展望】 (17:15-17:20)
7-1 分子性, 合成分子技術, 分子技術イニシヤティブ (奈良先端大) 村井眞二・(東大理) 中村栄一
参加費・資料代: 無料
申込方法: 当日会場受付へ (事前申込み不要)
問合先: 科学技術振興機構研究開発戦略センター 永野・中山
電話(03)5214-7483

第17回化学教育フォーラム

主催: 日本化学会 化学教育協議会
日時: 3月27日(土) 13:00-16:30
会場: SD 会場 B 館 403 教室

今, 理科の学習内容・時間が増えた新学習指導要領が小・中学校で先行実施されています。このような状況をふまえて, 新学習指導要領で求められる学力とその主眼である科学リテラシーについて議論を深めたい。また同時に, 新学習指導要領が視野に入れている理科(化学)教員の新しい姿についても探っていききたい。

プログラム

1. 開会の挨拶 化学教育協議会議長
<13:10-14:10>
 2. 高等学校学習指導要領の改訂と今後の理科(化学)教育(文部科学省初等中等局) 林 誠一
 3. PISA から見える日本の科学リテラシー(国立教育政策研究所) 小倉 康
<14:10-15:10>
 4. 新指導要領に期待すること(東京大学) 村田 滋
 5. 新学習指導要領と新しい理科(化学)教育のすがた(京都教育大学) 村上忠幸
 6. 科学的リテラシーの育成と新指導要領(奈良女子大学附属中等教育学校) 越野省三
 7. 新指導要領の先行実施から見える科学リテラシー(宇治市立北宇治中学校) 西川光二
<15:10-16:30>
 8. パネルディスカッション 司会 村上忠幸
 9. 閉会の挨拶(開成学園中学校高等学校) 齊藤幸一
- 参加費: 無料
申込方法: 事前申込み不要。
問合先: (社)日本化学会 企画部 大倉
電話(03)3292-6164
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

第二次先端ウォッチング イブニングセッション ゲノムケミストリーの医療への展開

日時: 3月27日(土) 13:30-17:30
会場: S3 会場 21 号館 205 教室

ゲノム関連研究の迅速な遂行とそれをベースとしたゲノム産業の創出には, “ものづくり” が可能な化学の立場からの研究が重要であることは言をまたない。その中心を占めるのがゲノムケミストリーであり, この分野の研究に今全力を注がないと, 21 世紀のゲノム関連研究・産業創出において, 国際的に太刀打ちできなくなることは必至である。

換言すると, 今回「ゲノムケミストリー」研究分野において優れた研究を行っており, 国際的にも高い評価を受けているメンバーが一堂に会し, 情報・意見交換することにより, 遺伝子の機能探索や情報発現機構の解明などの基礎研究のみならず, これらの基礎研究に基づくゲノム創薬, 遺伝子診断, バイオチップ, バイオセンサー, バイオナノ材料などのバイオ・ゲノム関連事項に有効利用できる機能性人工核酸の創製・開発などの応用研究の急速な発展をもたらすことが期待される。また, 波及効果として, 得られた有用な研究成果を我が国の企業に発信することによって, 企業に刺激を与え, 上記の研究開発・企業化を目指した欧米型ベンチャー企業を立ち上げさせることも可能である。

その結果, 我が国のゲノム研究のレベルを, 最先端レベルにまで持ち上げることができると期待される。

プログラム

- 13:30-13:50 化学修飾核酸の創製と創薬への展開(岐阜大院創薬) 北出幸夫
- 13:50-14:10 がん抑制マイクロ RNA-143, -145 の発癌へのカスケード(岐阜大院創薬) 赤尾幸博
- 14:10-14:30 リン原子修飾による核酸の構造・機能制御(東大院新領域) 和田 猛
- 14:30-14:50 芳香族化合物で修飾した安定で有用な RNA 分子の開発(岐阜大工) 上野義仁
- 14:50-15:10 機能性人工核酸の開発—新たな核酸医薬・診断薬創出に向けて—(阪大院薬) 小比賀 聡
- 15:30-15:50 刺激応答性人工核酸を活用したゲノムケミストリーの展開(東北大院工) 和田健彦
- 15:50-16:10 RNA の部位特異的修飾のための人工核酸ツールの開発と応用(九大院薬) 佐々木茂貴
- 16:10-16:30 短鎖 RNA の検出を指向した新規人工核酸の開発(東工大院生命理工) 清尾康志
- 16:30-16:50 遺伝子解析に活用する試薬の開発(産技研ゲノムファクトリー) 小松康雄
- 16:50-17:10 カートリッジ型人工ヌクレオチドによる機能性 DNA の設計と応用(名大院工) 浅沼浩之
- 17:10-17:30 新規蛍光制御法による効率的核酸イメージング(理研) 岡本晃充

第二次先端ウォッチング イブニングセッション フォトクロミズムとメカニカル機能

日時: 3月27日(土) 14:00-17:50
会場: SA 会場 B 館 201 教室

フォトクロミック分子の歴史は古く, 19 世紀半ばにはすでにその存在は知られていた。現在までに数多くのフォトクロミック化合物が報告されているが, フォトクロミズム研究における日本の役割は大きく, 代表的なフォトクロミック分子は日本人により創製されたと言っても過言ではない。フォトクロミック分子はこれまで光メモリー, 光スイッチ, イオン捕集のような光制御における光応答分子としてもっばら使われてきたが, 近年では物質レベルのマクロな動きを誘起するナノレベルの光トリガーとしても注目されている。本セッションでは急速に発展しつつあるこれらの新しい分野に視点をあて, フォトクロミック分子のもつ新しい可能性をいろいろな角度から追求する。

プログラム

- 14:00-14:20 ジアリアルエテン単結晶のフォトメカニカル機能(立教大理) 入江正浩
- 14:20-14:40 超高速時間分解計測によるフォトクロミック反応ダイナミクスとメカニズムの解明(阪大院基礎工) 宮坂 博
- 14:40-15:00 フォトクロミック表面におけるメタル堆積コントロール(阪教大教育) 辻岡 強
- 15:00-15:20 光により誘起される超撥水・超親水性表面(龍谷大理工) 内田欣吾
- 15:20-15:40 高性能フォトクロミック化合物の創製(横国大院工) 横山 泰
- 15:50-16:10 アバランシェ型フォトクロミック反応系の構築(京大院工) 松田建児
- 16:10-16:30 巨大構造変化を伴うフォトクロミック系の創出(筑波大筑波大院数理物質) 新井達郎
- 16:30-16:50 高速フォトクロミック分子の開発(青山学院大理工) 阿部二朗
- 16:50-17:10 2次元の分子集合に基づく光メカニカル機能発現と応用(名大院工) 関 隆広
- 17:10-17:30 架橋フォトクロミック液晶高分子を用いたメカニカル機能の創出(東工大資源) 池田富樹
- 17:30-17:50 光メカニカル機能を持つ時空間高分子材料の創成(東大院工) 吉田 亮

産学交流シンポジウム2010 化学の世界をシミュレーション

主催: 日本化学会産学交流委員会
日時: 3月28日(日) 10:00-15:10
会場: SC 会場 B 館 402 教室

化学の世界では実験が不可欠である。そして失敗も含め偶然の幸運に恵まれた予期せぬ実験結果が、化学技術の発展に寄与した例は多い。かように実験結果は多様であるが、実験を行おうとする動機は怪しい錬金術における欲望をはじめ、何らかの仮説とそれが正しいであろうという期待からではないだろうか。しかし、簡単な実験であればすぐにできるが、実験には経済的な制約がつきものである。昨今は環境への影響も大問題であり、実験装置導入に環境アセスメントを行っている企業もある。このように種々の制約がある実験を行う前に、その期待値をあげることができれば、効率的に研究開発を進めることができる。コンピューターシミュレーションはその一手法であり、化学の様々な分野で活用されている事例をもとに、化学におけるシミュレーションを議論してみたい。

プログラム

10:00-10:50 基調講演 シミュレーションで材料開発はどう変わるか(東京大学大学院工学研究科・教授) 土井正男
 10:50-11:30 材料の自発的構造形成と材料設計 ((株)豊田中央研究所材料分野計算物理研究室・室長) 兵頭志明
 11:30-12:10 材料設計—高分子材料設計(旭化成(株)基盤技術研究所) 青柳岳司
 13:00-13:40 次世代コンピューターの化学への応用[開発者側](理化学研究所) 姫野龍太郎
 13:40-14:20 シミュレーション技術の応用事例—ガラス材料の設計(旭硝子(株)中央研究所) 高田 章
 14:30-15:10 シミュレーション技術の応用事例—有機光学材料の設計(法政大学情報科学部/元住友化学(株)筑波研究所) 善甫康成
 司会: 倉地育夫(コニカミノルタビジネステクノロジーズ) ほか
 参加費: 無料。講演資料代: 1,000円(当日徴収)
 申込方法: 「3/28産学交流シンポジウム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・E-mailを明記の上、E-mail(matsubara@chemistry.or.jp)にてお申し込み下さい(内容問合先: 保倉光邦)。
 申込先: (社)日本化学会 企画部 松原・保倉
 〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5
 電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
 E-mail: matsubara@chemistry.or.jp

第10回記念シンポジウム: 男女共同参画の過去・現在・未来

主催: 男女共同参画推進委員会
 共催: 男女共同参画学協会連絡会
 日時: 3月28日(日) 13:30-17:20
 会場: S7会場 19号館 19-002教室

現在、男女共同参画社会の実現を目的として、様々な組織、また地域に男女共同参画推進委員会が設けられています。一方で、その存在や男女共同参画に関する理解は、まだ一般に広く知られていないという現実があります。今年は、男女共同参画社会基本法制定10周年にあたり、さらに日本化学会で開催されてきたシンポジウムも、第81春季年会(平成14年3月)の第1回から数えて、本第90春季年会のシンポジウムは第10回目となり一つの節目を迎えます。したがって化学者を取り巻く社会や本学会の男女共同参画推進に対するこれまでの歩みを整理し、将来の発展につなげていくことは極めて有意義です。本シンポジウムでは男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて、様々な観点からこれまでの活動を総括し、今後の活動に向けた提言を行います。

プログラム

13:30~ 開会挨拶 日本化学会会長 岩澤康裕
 13:35~ 趣旨説明 シンポジウム実行委員長 引地史郎
 日本化学会男女共同参画推進委員会委員長 佐々木政子
 13:50~ 基調講演「科学技術政策と男女共同参画」
 科学技術振興機構 塩満典子
 15:00~ 依頼講演
 「日本化学会の取り組み」 神戸大学特別顧問 相馬芳枝
 「女性研究者支援モデル育成事業の実例~研究者と2児の母の両立~」 大阪大学産業科学研究所 武井史恵
 「化学会を取り巻く男女共同参画の実情と将来~アンケートの分析より」 お茶の水女子大学 森 義仁
 16:50~ 総合討論
 17:10~ 閉会挨拶 日本化学会男女共同参画推進委員会
 前理事 下井 守, 理事 小島秀子
 参加費: 無料

申込方法: 事前申込み不要。当日会場にて受付。
 申込先/問合先: (社)日本化学会 総務部 佐藤
 〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5
 電話(03)3292-6161 FAX(03)3292-6318
 ご案内: シンポジウム終了後18時~19時30分にノバンバー食堂(11月ホール地下)にて懇親会を開催いたします。参加費は無料ですので、奮ってご参加下さい。

化学遺産市民公開講座

企画: 日本化学会化学遺産委員会
 主催: 日本化学会・化学史学会
 共催: 日本化学工業協会・化学技術戦略推進機構ほか
 日時: 3月28日(日) 13:00-16:40
 会場: S3会場 21号館 205教室

化学遺産委員会では主に現在、①化学・化学技術史に関する資料等の調査・収集・整理・保管とそれら情報のデータベース化と公開。②化学研究及び化学技術面で大きな功績を残された高名な化学関係諸先達にインタビューを行い、それを映像と音声及び冊子体で後世に残す事業[化学語り部: オーラルヒストリー事業]。③会員及び一般市民を対象とする化学・化学技術史に関する普及・啓発事業の実施[市民公開講座・化学史料展示会の春季年会での開催]を行っていますが、本年度より新たに、④化学関連の学術遺産あるいは化学技術遺産の中で、特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を実行に移すことになり、化学遺産認定候補として相応しいと判断されるもの数件の調査・検証作業を行ってきました。今回の市民公開講座では、本年度認定候補として調査・検証を行ったそれら候補内容についてご紹介いたします。奮ってご参加下さるようご案内いたします。

プログラム

総合司会: (化学遺産委員会委員・化学史学会会長) 亀山哲也
 開会挨拶・紹介(13:00~13:15)
 『日本化学会化学遺産委員会事業のいま、これから』
 (日本化学会化学遺産委員会委員長/岡山理科大学教授・京都大学名誉教授) 植村 榮氏
 講演
 1. 『喜多源逸—京都大学に工業化学の伝統をつくった男』
 座長 植村 榮(13:15~13:55)
 (日本大学生物資源科学部教授) 古川 安氏
 2. 『化学遺産: 日本の化学の開拓者—宇田川榕菴・高峰讓吉・池田菊苗』座長 岡崎廉治(13:55~14:35)
 (日本化学会化学遺産委員会委員/大阪大学名誉教授) 芝 哲夫氏
 3. 『化学遺産: 日本倉密製造会社とルブラン法炭酸ソーダ製造法塩酸吸収塔』
 座長 三浦勇一(14:35~15:05)
 (日産化学工業(株)小野田工場総務課長) 北嶋 昭氏
 一休憩—
 4. 『化学遺産: ビスコス法レーヨン工業の発祥が教えること』
 座長 内田正夫(15:35~16:05)
 (日本化学会化学遺産委員会委員/日本化学会フェロー)
 田島慶三氏
 5. 『化学遺産: 旭化成と延岡市—カザレー式アンモニア合成が遺したもの』座長 若林文高(16:05~16:35)
 (旭化成株式会社上席執行役員延岡支社長) 水永正憲氏
 閉会挨拶(16:35~16:40)
 (化学遺産委員会顧問/東北大学名誉教授) 荻野 博氏
 参加費: 無料。資料代: 1,000円(当日徴収)
 申込方法: 化学遺産市民公開講座参加希望と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX・E-mailを明記し下記宛お申し込み下さい。当日参加もできます。
 申込先: (社)日本化学会 企画部 太田
 〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5
 電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
 E-mail: oota@chemistry.or.jp

環境・安全シンポジウム2010 大学・高専における化学実験室の 現状と課題 —法人化後の実験施設と安全管理—

主催：日本化学会 環境・安全推進委員会
日時：3月28日(日) 13:30-17:00
会場：SB会場B館401教室

国立大学等が法人化してから6年が経過し、大学や高専の安全衛生管理体制も法人化前に比べて大きく様変わりした。研究室レベルにおいても、実験設備の定期点検、産業医巡視や自主職場点検、安全講習の受講義務など、労働安全衛生法に基づく安全管理が浸透しつつあるが、その一方で、研究の多様化・高度化に対応した実験施設のあり方や、大学間での取り組み状況の差など、実験研究現場の環境安全について、検討すべき課題はまだ多く残されている。本シンポジウムでは、大学や高専の化学実験室の現状について具体例をご紹介いただき、そこから浮かび上がってくる実験施設や安全管理の問題点を抽出し、課題解決に向けた方策を考える。

プログラム

13:30-13:45 開会挨拶(環境・安全推進委員会委員長)山辺正顕
13:45-14:15 大学における化学系実験の安全向上:設備、管理、教育(九州大学先端物質化学研究所)友岡克彦
14:15-14:45 大学の実験現場における安全管理と安全教育—ここはウィーンか小田原か—(大阪大学安全衛生管理部)富田賢吾
14:55-15:25 富山高専の環境安全に対する取り組みと悩み(富山工業高等専門学校)伊藤通子
15:25-15:55 安全衛生に配慮した大学実験施設の整備(文部科学省大臣官房文教施設企画部)齊藤福栄
16:00-17:00 パネルディスカッション(総合司会:事業小委員会委員長)大島義人

参加費：無料。講演資料代：1,000円(当日徴収)

申込方法：「3/28 環境・安全シンポジウム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・E-mailを明記の上、E-mail(matsubara@chemistry.or.jp)にてお申し込み下さい(内容問合せ:保倉光邦)。なお、当日は13時から受付を行います。

問合せ先：(社)日本化学会 企画部 松原・保倉
〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: matsubara@chemistry.or.jp

第4回環境・安全問題見学会

(環境・安全シンポジウム併催行事)

本委員会では、環境・安全問題を考える機会を会員各位と共有するため、環境・安全への取り組みに優れた施設・設備、先進的な活動を行っている機関・事務所を訪問する自己啓発型の見学会を開催いたしております。

今回は、「環境・安全シンポジウム」の翌日である平成22年3月29日(月)午後、(株)カネカ大阪工場(摂津市)への見学会を予定しています。詳細は下記HPにてご確認の上、標記シンポジウムとあわせてご参加下さいますようお願いいたします。
環境安全HP <http://www.chemistry.or.jp/es/index.html>

年会博士セミナー

主催：博士セミナー実行委員会
日時：3月28日(日) 13:00-17:30
会場：S9会場B館101教室

科学技術で生き残りを図る日本において、科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、学においても産においても高度な知識と研究開発力を持った博士人材が非常に期待されています。一方で、博士課程在学中に企業・社会を実際に学ぶ機会が少なく、産に目を向ける場が少ないのが実情です。日本化学会では、2007年度より、化学系学生を対象に「博士セミナー」を東京、大阪等で開催し、また、第88春季年会からは、年会会場において、受講対象者を博士課程学生のみならず、修士課程学生、ポスドクの方まで幅広く広げて、「年会博士セミナー」を実施、好評を得ております。第90春季年会におきましても、全国から学生が多く集まる春季年会において、産業界をもっと知ってもらう「年

会博士セミナー」を開催いたします。

プログラム

13:00-13:30 企業研究に関する博士研究者の疑問・質問と企業の実際(博士セミナー実行副委員長、住化技術情報センター)山近洋
13:40-14:40 研究開発事例「ピレスロイド系殺虫剤の発展と化学—企業の探索研究で成功するために—」(住友化学(株)シニアリサーチスペシャリスト)松尾憲忠
14:50-17:20 博士卒企業若手研究者による研究開発事例紹介とパネル討論 パネリスト:齋藤明良(花王)、福井祥文(カネカ)、國本和彦(チバ・ジャパン)
司会:博士セミナー実行委員
17:20-17:30 総括 長瀬公一(博士セミナー実行委員会副委員長、東レ)

受講対象者:博士課程進学希望の修士課程在籍者、博士課程在籍者、及びポスドク研究者、博士セミナーに関心のある産学官の皆様

参加費:無料

申込方法:当日会場にて申込み可能ですが、①氏名、②所属・役職、③連絡先(〒、住所、電話番号、FAX番号、E-mail)を明記し、事前に下記宛お申し込み下さい。

申込先:(社)日本化学会 企画部 松原
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: matsubara@chemistry.or.jp

問合せ先:(社)日本化学会 企画部 百武
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: hyakutake@chemistry.or.jp

日本の学術の展望 —化学からの提言2010と科学技術政策提言—

共催：日本学術会議第三部化学委員会・
日本化学会将来構想委員会・高分子学会
日時：3月28日(日) 13:00-17:30
会場：S6会場19号館19-001教室

日本学術会議第三部(理学・工学)及び化学委員会では、学術研究の方向等を長期的視野で検討し、日本の学術研究の方向・展望を「日本の展望—理学・工学の提言2010」及び「日本の展望—化学からの提言2010」としてとりまとめた。化学委員会の各専門分野委員会の展望・提言を日本化学会会員に紹介し議論を行う。その骨子を第4期科学技術基本計画(戦略)への反映に努める。

プログラム

13:00-13:05 開会の辞(趣旨説明) 岩澤康裕
13:05-13:20 日本学術会議第三部(理学・工学)部長 岩澤康裕「日本の展望—理学・工学からの第4期科学技術基本計画(戦略)への提言」
13:20-13:35 日本学術会議第三部化学委員会委員長 藤嶋 昭「日本の展望—化学からの提言2010」
13:35-14:00 化学委員会物理化学・生物物理化学分科会委員長 北川禎三「物理化学・生物物理化学からの提言2010」
14:00-14:25 化学委員会無機化学分科会委員長 田中晃二「無機化学からの提言2010」
14:25-14:50 化学委員会有機化学分科会委員長 山本嘉則「有機化学からの提言2010」
14:50-15:15 化学委員会高分子化学分科会委員長 岡本佳男「高分子化学からの提言2010」
15:20-15:45 化学委員会分析化学分科会委員長 澤田嗣郎「分析化学からの提言2010」
15:45-16:10 化学委員会材料化学分科会委員長 橋本和仁「材料化学からの提言2010」
16:10-16:35 化学委員会結晶学分科会委員長 菅原 正「結晶学からの提言2010」
16:35-17:00 化学委員会生体関連化学分科会委員長 青山安宏「生体関連化学からの提言2010」
17:00-17:25 化学委員会化学工学・触媒工学分科会委員長 架谷昌信「化学工学・触媒工学からの提言2010」
17:25-17:30 開会の辞 藤嶋 昭

参加費:無料

申込方法:事前申込み不要。直接会場へお越し下さい。

問合せ先:岩澤康裕(電通大)
電話(042)443-5921 E-mail: iwawasa@pc.uec.ac.jp

国際シンポジウム
**「光エネルギーと物質変換：
人工光合成の未来」**
**International Symposium on
Chemical Conversion of
Light Energy**

主催：科学技術振興機構・日本化学会
日時：3月28日(日) 09:45-17:55
会場：SA 会場 B 館 201 教室

太陽光エネルギーなど自然再生エネルギーの本格的な利用が喫緊の課題となっている。科学技術振興機構さきがけ「光エネルギーと物質変換」領域では、太陽光の有効利用の中で最も本質的な課題の一つである「光エネルギー/化学エネルギー変換(人工光合成)」に真正面から取り組んでいる。本国際シンポジウムでは「人工光合成」の研究最前線について日本化学会の春季年会において、日本化学会と科学技術振興機構が共催して世界の当領域の最先端研究者を招聘し、さきがけ研究領域の現状と将来展望について議論する。人工光合成領域とさきがけ領域の重要性を若手研究者に情報発信し、次代の研究者とともに課題の鮮明化と相互の科学的刺激により当領域の一層の研究推進に資する。

プログラム

- 09:45-09:50 Opening Remark (Tokyo Metropolitan Univ.) Prof. Haruo Inoue
09:50-10:00 Welcome Message (JST)
10:00-10:35 Photochemical oxygenation through two-electron conversion with water as electron donor and oxygen atom donor: Toward artificial photosynthesis (Tokyo Metropolitan Univ.) Prof. Haruo Inoue
10:35-11:10 Charge accumulation in molecular arrays (Newcastle Univ., UK) Prof. Anthony Harriman
11:10-11:45 Development of highly efficient photocatalysts for CO₂ reduction (Tokyo Institute of Tech.) Prof. Osamu Ishitani
11:45-12:00 Introduction to JST "PRESTO" Projects
12:00-13:00 Poster Session
1. Visualizing molecular structures in the course of light-energy conversion processes by means of time-resolved X-ray structural analysis (High Energy Accelerator Research Organization) Shinichi Adachi
 2. Development of highly efficient water splitting system using highly functional organic dyes (Hokkaido Univ.) Ryu Abe
 3. Development of large photofunctional π -conjugated systems (Kyoto Univ.) Naoki Aratani
 4. Computational analysis of photoinduced electron transfer reactions in proteins (Kyoto Univ.) Hiroshi Ishikita
 5. Carbon dioxide multi-electron reduction catalysts constructed based on peptide origami (Kitasato Univ.) Hitoshi Ishida
 6. Development of optical functional materials with hierarchical nano system (Kyusyu Univ.) Shintaro Ida
 7. Protein Engineering for creation of algae with high formate productivity (Shinshu Univ.) Masaki Ihara

8. Development of visible-light-driven catalytic transformation system of organic molecules (Tokyo Institute of Tech.) Akiko Inagaki
9. Studies on biosynthesis of the active-site iron-complex from [Fe]-hydrogenase (Max-Planck-Institute for Terrestrial Microbiology) Seigo Shima
10. Organization and functional analysis of supramolecular assembly of photosynthetic membrane proteins (Nagoya Institute of Tech.) Takehisa Dewa
11. Efficient photoreduction of carbon dioxide catalyzed by an iron complex bearing a phosphalkene ligand (Kyoto Univ.) Yumiko Nakajima
12. Development of highly-active oxygen evolving catalysts toward visible-light-induced water splitting (Kyushu Univ.) Shigeyuki Masaoka
13. Development of a nano-hybrid catalyst for photochemical water oxidation toward a hydrogen-producing solar cell (Niigata Univ.) Masayuki Yagi
- 13:30-14:05 Photochemical CO₂ reduction using transition metal complexes: current status and future prospects (Brookhaven National Laboratory, USA) Dr. Etsuko Fujita
- 14:05-14:40 Efficient molecular catalysts for visible light driven water oxidation (Royal Institute of Tech (KTH), Sweden) Prof. Licheng Sun
- 14:40-15:15 Design and assembly strategies Towards photo-functional materials (Univ. of Hong Kong, Hong Kong) Prof. V. W. W. Yam
- 15:15-15:25 Coffee Break
- 15:25-16:00 Development of Oxynitride Photocatalysts for Overall Water Splitting (The Univ. of Tokyo) Prof. Kazunari Domen
- 16:00-16:35 Design of molecular inorganic materials towards artificial photosynthesis (The Univ. of Tokyo) Prof. Kazuhito Hashimoto
- 16:35-17:10 Pioneering development of next-generation organic photovoltaics (Research Center for Advanced Science and Technology, The Univ. of Tokyo) Prof. Hiroshi Segawa
- 17:10-17:45 Gold nano-structure enhanced photocurrent generation system from ultraviolet to near-infrared wavelength (Hokkaido Univ.) Prof. Hiroaki Misawa
- 17:45-17:55 Closing remark (Tsukuba Univ.) Emeritus Prof. Katsumi Tokumaru

参加費・講演要旨代：無料

申込方法：3/28 国際シンポジウム参加希望と明記し、①氏名、②所属・職位、③連絡先住所(〒)・電話番号・FAX 番号、E-mail を明記し下記宛 E-mail でお申し込み下さい。当日参加も可能です。なお本国際シンポジウムのみ参加希望の場合には春季年会への参加登録は不要です。

申込先：科学技術振興機構さきがけ「光エネルギーと物質変換」領域事務所
電話(042)653-3415 FAX(042)653-3416
E-mail: torii@chem-conv.jst.go.jp

科学技術振興機構 研究者支援事業「さきがけ」説明会

3月28日(日)11時45分より上記国際シンポジウム会場
科学技術振興機構研究者支援事業「さきがけ」の説明会を開催いたします。応募案内に関する資料をお渡しいたしますので、奮ってご参加下さい。

第 90 春季年会プログラム [会場別]
アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)は P. 306 ~
アカデミックプログラム(AP)は 春季年会ウェブサイトにてご覧ください

S1 会場

21 号館 203 教室

複合的食品機能の定量解析研究

3月28日午後

座長 民谷 栄一 (13:30~15:00)

- 3S1-01** はじめに (京府医大) 吉川敏一 (13:30~13:40)
3S1-02 特別講演 食品の複合的食品機能研究の現状 (農研機構食品総研) 日野明寛 (13:40~14:20)
3S1-03 特別講演 医学からみた食品機能 (京府医大) 吉川敏一 (14:20~15:00)
- 座長 日野 明寛 (15:00~17:00)
3S1-04 特別講演 健康食品開発の現状 (サントリーウエルネス健康科学研) 木曾良信 (15:00~15:40)
3S1-05 特別講演 人工消化・吸収代謝システムを用いた食品機能評価の可能性 (東大生研) 酒井康行・藤井輝夫 (15:40~16:20)
3S1-06 特別講演 食品機能分析バイオデバイス (阪大院工) 民谷栄一 (16:20~17:00)

(17:00~17:10)

- 3S1-07** おわりに (農研機構食品総研) 日野明寛 (17:00~17:10)

低次元無機-有機複合系の光化学
~包接環境下における有機化合物の光機能~

3月29日午前

座長 中戸 晃之 (9:30~10:20)

- 4S1-01 特別企画講演** 低次元無機-有機ハイブリッド空間内における金属錯体の新光機能発現 (東工大院理工・JST CREST) 石谷 治 (09:30~10:00)
4S1-02 特別企画講演 Langmuir-Blodgett 法による色素/酸化物複合膜の配列制御と光機能 (信州大繊維・SORST/JST) 宇佐美久尚 (10:00~10:10)
4S1-03 特別企画講演 ナノ層状化合物-ポルフィリン複合体における光化学反応 (首都大院都市環境・JST さきがけ) 高木慎介 (10:10~10:20)
- 座長 宮田 浩克 (10:20~11:10)
4S1-04 特別企画講演 高分子ナノ相分離構造薄膜の光電気化学的展開 (東工大資源研) 彌田智一 (10:20~10:50)
4S1-05 特別企画講演 2次元ナノ空間に取り込まれた色素の環境応答による発光特性変化 (島根大総合理工) 笹井 亮 (10:50~11:00)
4S1-06 特別企画講演 有機修飾ナノシート上での色素の凝集・配列制御の可能性 (兵大院工) 松尾吉晃 (11:00~11:10)

座長 陰山 洋 (11:20~12:00)

- 4S1-07 特別企画講演** 有機ナノ結晶の光学特性におけるサイズ効果 (阪大院工) 朝日 剛 (11:20~11:50)
4S1-08 特別企画講演 二次元無機結晶に包接された有機化合物の非線形光学特性 (山口大院医) 川俣 純 (11:50~12:00)

座長 川俣 純 (12:00~12:30)

- 4S1-09 特別企画講演** 光機能分子のソフトマトリクスとしての層状結晶 (東工大BASE) 中戸晃之 (12:00~12:05)
4S1-10 特別企画講演 光機能性有機化合物を働かせるメソポーラス材料の合成と機能 (キヤノン技術フロンティア研究センター) 宮田浩克 (12:05~12:10)
4S1-11 特別企画講演 一次元無機高分子による光機能性有機分子集合体の構造制御 (鹿児島大院理工) 金子芳郎 (12:10~12:15)
4S1-12 特別企画講演 選択的な有機分子吸着実現のための層状無機化合物設計 (信州大工) 岡田友彦 (12:15~12:20)
4S1-13 特別企画講演 高機能性低次元化合物 (京大院理) 陰山 洋 (12:20~12:25)
4S1-14 パネルディスカッション 「有機化合物の機能発現と低次元無機化合物」パネリスト: 中戸 晃之・宮田 浩克・金子 芳郎・岡田 友彦・陰山 洋 コーディネーター: 川俣 純 (12:25~12:30)

人工光合成を基盤とした
エネルギー創製・物質生産

3月29日午後

座長 南後 守 (13:30~15:00)

- 4S1-15** 趣旨説明 (大分大工) 天尾 豊 (13:30~13:40)
4S1-16 特別企画講演 人工光合成系による二酸化炭素の還元・物質生産 (大分大工) 天尾 豊 (13:40~14:20)
4S1-17 特別企画講演 メソポーラス有機シリカを利用した CO₂還元光触媒系の構築 (豊田中研・JST/CREST) 稲垣伸二 (14:20~15:00)

座長 天尾 豊 (15:00~16:30)

- 4S1-18 特別企画講演** ポルフィリン-抗体錯体を用いたエネルギー変換・触媒システム (阪大院理・JST-CREST) 山口浩靖・原田 明 (15:00~15:40)
4S1-19 特別企画講演 光合成でのアンテナ系タンパク質色素複合体の基板上での組織化 (名大院工) 南後 守 (15:40~16:20)
4S1-20 総括 (大分大工) 天尾 豊 (16:20~16:30)

S2 会場

21 号館 204 教室

天然物および生物有機化学に関する
ナカニシンポジウム 2010

3月26日午後

(13:00~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

特別講演

3月27日午前

座長 鈴木 啓介 (11:00~11:50)

- 2S2-01# 特別講演** β -Peptides from Chemistry to Biology (Organische Chemie / Eidgenössische Technische Hochschule, Switzerland) Dieter Seebach (11:00~11:50)

天然有機化合物の全合成:
効率的分子構築のための新しい反応と戦略

3月27日午後

(13:30~13:40)

- 2S2-02** 趣旨説明 (東大院薬) 井上将行 (13:30~13:40)

座長 谷野 圭持 (13:40~14:10)

- 2S2-03 特別講演** 効率的骨格構築を指向した天然物合成戦略 (東大院農) 渡邊秀典 (13:40~14:10)

座長 渡邊 秀典 (14:10~14:40)

- 2S2-04 特別講演** 高次構造フラボノイドの有機合成 (東工大院理工・SORST JST) 大森 建 (14:10~14:40)

座長 大森 建 (14:40~15:10)

- 2S2-05 特別講演** 官能基密集型天然物の合成研究 (東大院薬) 井上将行 (14:40~15:10)

座長 井上 将行 (15:20~15:50)

- 2S2-06 特別講演** 多環性アルカロイドの全合成研究: (+)-Haplophytine の全合成を中心として (東北大院薬) 徳山英利 (15:20~15:50)

座長 徳山 英利 (15:50~16:20)

- 2S2-07 特別講演** 連続反応を鍵工程とする生物活性多環式天然物の不斉全合成研究 (早大院理工) 中田雅久 (15:50~16:20)

座長 中田 雅久 (16:20~16:50)

- 2S2-08 特別講演** 特異な [6+4] 型付加環化反応を鍵とする海産テル

ペノイドの全合成 (北大院理) 谷野圭持 (16:20~16:50)

(16:50~17:00)

2S2-09 総括 (早大院理工) 中田雅久 (16:50~17:00)

二酸化炭素固定化反応の新展開： 基礎科学からのアプローチ

3月28日午後

座長 岩澤 伸治 (13:30~16:35)

- 3S2-01 趣旨説明 (東工大院理工) 岩澤伸治 (13:30~13:35)
3S2-02 特別講演 遷移金属触媒を用いるカルボン酸誘導体の合成 (東工大院理工) 岩澤伸治 (13:35~14:05)
3S2-03 特別講演 脂肪族ポリカーボネート合成の最近の動向 (東大院工) 野崎京子 (14:05~14:35)
3S2-04 特別講演 二酸化炭素を原料とするポリカーボネートの製法 (旭化成・旭化成ケミカルズ) ○府川伊三郎・三宅信寿 (14:35~15:05)
3S2-05 特別講演 分子触媒を用いる二酸化炭素の固定化プロセス (東工大院理工) 碓屋隆雄 (15:05~15:35)
3S2-06 特別講演 太陽エネルギーによる二酸化炭素資源化の重要性と現状 (東工大院理工・JST CREST) 石谷 治 (15:35~16:05)
3S2-07 特別講演 錯体触媒による二酸化炭素の多電子還元反応を目指して (分子研) 田中晃二 (16:05~16:35)

細胞生物学のケミカルバイオロジー

3月29日午前

座長 上村 大輔 (9:00~9:30)

- 4S2-01 特別講演 メタボロミクスを基盤としたファイトケミカルゲノミクス (千葉大院薬・理研植物科学セ) 齊藤和季 (09:00~09:30)
座長 村田 道雄 (9:30~10:00)
4S2-02 特別講演 コンビ合成を基盤とするケミカルバイオロジー (東工大院理工) 高橋孝志 (09:30~10:00)
座長 上田 実 (10:00~10:30)
4S2-03 特別講演 人工遺伝子スイッチによる細胞制御 (京大院理・京大 iCeMS) 杉山 弘 (10:00~10:30)
座長 深瀬 浩一 (10:30~11:00)
4S2-04 特別講演 タンパク質・ペプチドデリバリーと細胞機能制御 (東医歯大生材研) 秋吉一成 (10:30~11:00)
座長 木越 英夫 (11:00~11:30)
4S2-05 特別講演 合成化学を基盤とする糖タンパク質の細胞内機能解析 (理研・JST-ERATO) 伊藤幸成 (11:00~11:30)
座長 菊地 和也 (11:30~12:30)
4S2-06 特別講演 ニトロ化ヌクレオチドのケミカルバイオロジー (東北大院生命科学) 有本博一 (11:30~12:00)
4S2-07 特別講演 二次代謝酵素の機能制御と生合成工学 (東大院薬) 阿部郁朗 (12:00~12:30)

S3 会場

21号館 205教室

新薬創製のための化学的アプローチとその展望

3月26日午前

(9:30~9:35)

- 1S3-01 趣旨説明 (関西大化学生命工) 中井美早紀 (09:30~09:35)
座長 木下 勇 (9:35~10:35)
1S3-02 特別企画講演 合理的な分子設計に基づく新しい医薬機能分子の創製 (名市大院薬) 樋口恒彦 (09:35~10:05)
1S3-03 特別企画講演 G-quadruplex を標的とする癌化学治療へのアプローチ (東農工大院工) 長澤和夫 (10:05~10:35)
座長 須貝 祐子 (10:35~11:25)
1S3-04 特別企画講演 創薬研究への応用を目指した蛍光プローブの開発 (東大院薬・JST-CREST) 寺井琢也 (10:35~10:55)
1S3-05 特別企画講演 ヒドロキシアジン系複素環化合物-錯体の合成と金属含有医薬品への応用 (成蹊大理工) 加藤明良 (10:55~11:25)
座長 矢野 重信 (11:25~12:35)
1S3-06 特別企画講演 世界を元気にする『アスタキサンチン』の開

発と企業戦略 (富士化学工業) 山下栄次 (11:25~11:45)

- 1S3-07 特別企画講演 カイロモルフオロジー：キラリティーの創製、転写、増幅から測定まで (東大院総合文化・JST ERATO-SORST) 黒田玲子 (11:45~12:30)
1S3-08 総括 (成蹊大理工) 松村有里子 (12:30~12:35)

化学で切り拓く未来医療

3月26日午後

座長 深瀬 浩一 (13:30~14:20)

- 1S3-09 趣旨説明 (阪市大院工) 長崎 健 (13:30~13:40)
1S3-10 特別企画講演 GPI アンカータンパクの生物学と医学 (阪大微研) 木下タロウ (13:40~14:20)
座長 長崎 健 (14:20~15:00)
1S3-11 特別企画講演 ペプチドをツールとして用いた生体高分子の細胞内送達技術 (京大化研) 二木史朗 (14:20~15:00)
座長 川本 哲治 (15:00~15:40)
1S3-12 特別企画講演 がん治療増感の化学的新戦略から宇宙研究へ (奈良県医大) 大西武雄 (15:00~15:40)
座長 藤井 郁雄 (15:40~16:30)
1S3-13 特別企画講演 再生医療を実現するための化学的アプローチ (国立循環器病センター研究所) 山岡哲二 (15:40~16:20)
1S3-14 総括 (武田薬品) 川本哲治 (16:20~16:30)

第2次先端ウォッチングイブニングセッション ゲノムケミストリーの医療への展開

3月27日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

化学遺産市民公開講座

3月28日午後

(13:00~16:40)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S4 会場

21号館 320教室

科学者・技術者の倫理と社会的責任を考える (6)

3月26日午後

(13:00~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S5 会場

21号館 422教室

超分子金属錯体-超分子構造から機能への展開-

3月26日午後

- 1S5-01 開会の挨拶・趣旨説明 (東北大院理) 山下正廣 (13:30~13:40)
座長 小島 隆彦 (13:40~14:50)
1S5-02 特別講演 新しい電子系を目指して一芳香族性とトポロジー (京大院理) 大須賀篤弘 (13:40~14:15)
1S5-03 特別講演 金属イオンの動的特性を利用した機能性超分子錯体の開発 (東大院理) 平岡秀一 (14:15~14:50)
座長 今野 巧 (14:50~16:05)
1S5-04 特別講演 機能性ソフトマテリアルにむけての超分子化学 (東大院工) 相田卓三 (14:50~15:25)
1S5-05 特別講演 金属錯体の自己組織化とナノ界面科学 (九大院工・JST CREST) 君塚信夫 (15:30~16:05)
座長 田中 健太郎 (16:05~17:15)
1S5-06 特別講演 精密集積金属と機能 (東工大) 山元公寿 (16:05~

16:40)

1S5-07 特別講演 構造と機能の自己組織化構築 (東大院工) 藤田 誠 (16:40~17:15)

動的金属錯体の機能制御 — 価数制御と電子移動 —

(17:20~19:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S6 会場

19号館 19-001

学会賞

3月26日午後

座長 川合 真紀 (13:00~15:10)

1S6-01 学会賞受賞講演 金ナノ粒子の新しい触媒作用 (首都大都市環境) 春田正毅 (13:00~14:00)

1S6-02 学会賞受賞講演 固液界面におけるナノ構造のその場決定と機能性物質相の構築 (北大院理・NIMS MANA) 魚崎浩平 (14:10~15:10)

3月27日午前

座長 筒井 哲夫 (10:00~11:00)

2S6-01 学会賞受賞講演 金属内包フラーレンとナノビーボッドの創製と評価 (名大院理・名大高等研究院) 篠原久典 (10:00~11:00)

座長 宮下 徳治 (11:10~12:10)

2S6-02 学会賞受賞講演 協同現象を利用した新しい光機能材料の創出 (東工大資源研) 池田富樹 (11:10~12:10)

そこが知りたい! ~身のまわりの化学~ 【市民公開講座】

3月27日午後

座長 中川 佳樹 (13:20~14:10)

2S6-03 特別講演 クロマグロの完全養殖 (近畿大水産研) 村田 修 (13:20~14:10)

座長 杉野目 道紀 (14:10~15:00)

2S6-04 特別講演 アルカリ乾電池 EVOLTA (エボルタ) (パナソニック(株)エナジー社 乾電池BU) 岡田忠也 (14:10~15:00)

座長 生越 専介 (15:20~16:10)

2S6-05 特別講演 ダチョウウカ (ぢから) (京府大院生命環境科学) 塚本康浩 (15:20~16:10)

座長 鈴木 正明 (16:10~17:00)

2S6-06 特別講演 価値ある機能性食品素材 コエンザイム Q10(CoQ10) (カネカ QOL 事業部) 細江和典 (16:10~17:00)

学会賞

3月28日午前

座長 西原 寛 (10:00~11:00)

3S6-01 学会賞受賞講演 電子的に新規なポルフィリノイドの開発と展開 (京大院理) 大須賀篤弘 (10:00~11:00)

座長 宮浦 憲夫 (11:10~12:10)

3S6-02 学会賞受賞講演 協奏機能分子触媒の開拓と応用 (東工大院理工) 碓屋隆雄 (11:10~12:10)

日本の学術の展望 — 化学からの提言 2010 と科学技術政策提言

3月28日午後

(13:00~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S7 会場

19号館 19-002

固液界面の溶液構造

3月26日午前

座長 松岡 修 (9:30~11:05)

1S7-01 趣旨説明 (神戸大理) 大西 洋 (09:30~09:35)

1S7-02 特別企画講演 分子液体論(RISM理論)でみる分子界面の溶液構造 (理研次世代計算科学) 今井隆志 (09:35~10:05)

1S7-03 特別企画講演 AFMで探る金属酸化物界面の溶液構造 (神戸大理・京大工・京大ICC・理研) 〇木村建次郎・目浅 巧・井戸慎一郎・大藪範昭・小林 圭・今井隆志・山田啓文・大西 洋 (10:05~10:35)

1S7-04 特別企画講演 AFMで探る脂質二重膜界面の溶液構造 (金沢大 FSO・JST さきがけ) 福岡剛士 (10:35~11:05)

座長 大西 洋 (11:05~12:35)

1S7-05 特別企画講演 第一原理計算による固液界面での酸化還元反応解析 (物材機構 WPI-MANA・JST さきがけ・JST-CREST) 館山佳尚 (11:05~11:35)

1S7-06 特別企画講演 AFMで探る電極反応に伴う界面の局所構造変化 (阪大院基礎工・JST さきがけ) 福井賢一 (11:35~12:05)

1S7-07 特別企画講演 表面力測定にもとづくナノ界面基盤技術の構築 (東北大多元研) 栗原和枝 (12:05~12:35)

ソフト界面科学のニューウェーブ

3月26日午後

座長 高井 まどか (13:30~14:05)

1S7-08 趣旨説明 (北陸先端大マテリアルサイエンス) 三浦佳子 (13:30~13:35)

1S7-09 特別企画講演 自己組織化単分子膜を用いた DNA センサーの構築 (東レ先端融合研究所) 中村史夫 (13:35~14:05)

座長 三浦 佳子 (14:05~15:35)

1S7-10 特別企画講演 表面力測定および周波発生振動分光法による吸着水の構造評価 (東北大多元研・CREST-JST) 〇水上雅史・小林篤史・栗原和枝 (14:05~14:35)

1S7-11 特別企画講演 固体高分子中の見えない水—高分子-水系における水の相転移挙動— (富山大院理工) 源明 誠 (14:35~15:05)

1S7-12 特別企画講演 DNA 担持高分子ミセルの特異なコロイド安定性 (理研) 宝田 徹 (15:05~15:35)

座長 菊池 明彦 (15:35~16:30)

1S7-13 特別企画講演 生体高分子の機能を向上させる天然/合成高分子ハイブリッド型密生層界面 (筑波大院数理工学・筑波大 TARA) 〇吉本敬太郎・長崎幸夫 (15:35~16:05)

1S7-14 特別企画講演 ソフト界面を活用したバイオトランジスタの創製 (東大院工・物材機構) 〇松元 亮・宮原裕二 (16:05~16:30)

日本化学会・科学技術振興機構合同 特別公開シンポジウム 「分子技術イニシャティブ」

3月27日午後

(13:30~17:20)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第10回記念シンポジウム: 男女共同参画の過去・現在・未来

3月28日午後

(13:30~17:20)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S8 会場

11月ホール大ホール

会長講演・表彰式・演奏会

3月27日午後

(13:40~17:45)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S9 会場

B館101 教室

分子集積・組織化システムにおける協同効果と機能制御

3月26日午前

座長 鍋島 達弥 (9:30~10:35)

- 1S9-01** 趣旨説明 (筑波大院数理物質) 鍋島達弥 (09:30~09:35)
1S9-02 特別企画講演 遷移金属-活性酸素錯体の構造と反応性の精密制御 (阪大院工) 伊東 忍 (09:35~10:05)
1S9-03 特別企画講演 酵素に学ぶ協同機能触媒の設計と反応機構の解析 (東理大薬・東理大がん医療基盤科学技術研究セ) 青木 伸 (10:05~10:35)

座長 青木 伸 (10:35~11:35)

- 1S9-04** 特別企画講演 ホスト-ゲスト複合体を利用する協同的物性変換 (東工大資源研) 小坂田耕太郎 (10:35~11:05)
1S9-05 特別企画講演 特異な包接モチーフを用いた超分子集積構造の構築 (広島大院理) 灰野岳晴 (11:05~11:35)

座長 灰野 岳晴 (11:35~12:35)

- 1S9-06** 特別企画講演 基板表面での π 共役系錯体の自己集積構造と挙動 (日大理工) 大月 稜 (11:35~12:05)
1S9-07 特別企画講演 ハイブリッドポリマーの相乗的機能に基づくカラー電子ペーパーの開発 (物材機構) 樋口昌芳 (12:05~12:35)

ナノ粒子の深化と応用

3月26日午後

座長 吉沢 道人 (13:30~14:35)

- 1S9-08** 趣旨説明 (東理大院理) 根岸雄一 (13:30~13:35)
1S9-09 特別企画講演 ナノクラスター化合物の分子認識特性と応答機能 (北大院地球環境) 小西克明 (13:35~13:55)
1S9-10 特別企画講演 二成分複合金属クラスターの精密合成と構造解析 (東理大院総合化学) 根岸雄一 (13:55~14:15)
1S9-11 特別企画講演 金属ナノ粒子分散複合体の精密合成と機能 (甲南大 FIRST・JST さきがけ) 赤松謙祐 (14:15~14:35)

座長 高谷 光 (14:35~15:35)

- 1S9-12** 特別企画講演 ナノゲル微粒子の作成とバイオ・医療応用 (東医歯大生材研) 秋吉一成 (14:35~14:55)
1S9-13 特別企画講演 金ナノロッド表面の機能性修飾とそれを使った診断・治療システム (九大院工・JST さきがけ) 新留琢郎 (14:55~15:15)
1S9-14 特別企画講演 蛋白質微粒子の機能化 (京大 iCeMS・JST さきがけ) 上野隆史 (15:15~15:35)

座長 松尾 豊 (15:35~16:40)

- 1S9-15** 特別企画講演 ナノ粒子を用いたボトムアップエレクトロニクスへの展開 (東工大院理工・JST-CREST) 真島 豊 (15:35~15:55)
1S9-16 特別企画講演 半導体ナノ粒子の光励起状態と光機能性 (京大化研) 松田一成 (15:55~16:15)
1S9-17 特別企画講演 液中レーザーアブレーションによる有機ナノ粒子コロイドの作製 (阪大院工) 朝日 剛 (16:15~16:35)
1S9-18 総括 (京大 iCeMS) 上野隆史 (16:35~16:40)

年会博士セミナー

3月28日午後

(13:00~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

物質や生体の姿を描く先端計測科学：
原子分子から・超分子・細胞・生体まで

3月29日午前

座長 竹内 孝江 (9:30~11:05)

- 4S9-01** はじめに (JST・日本学術会議化学委員会) 澤田嗣郎 (09:30~09:35)
4S9-02 特別企画講演 質量分析の動向 (大阪府立母子保健総合医療セ) 和田芳直 (09:35~09:50)
4S9-03 特別企画講演 コールドスプレーMSの応用:超分子から生体分子まで (徳島文理大香川葉) 山口健太郎 (09:50~10:15)
4S9-04 特別企画講演 イオン移動度質量分析とイオントラップ:ナノ物質構造解析への応用 (東邦大理) 菅井俊樹 (10:15~10:40)
4S9-05 特別企画講演 生きた細胞1個のリアルタイム分子探索 MS (広島大院医歯薬) 升島 努 (10:40~11:05)

座長 和田 芳直 (11:05~12:30)

- 4S9-06** 特別企画講演 質量顕微鏡による病態解明 (浜松医大) 瀬藤光利 (11:05~11:30)
4S9-07 特別企画講演 高エネルギーX線を用いた放射光蛍光X線分析法の進歩と文化財科学への応用 (高輝度光科学研究センター) 寺田靖子 (11:30~11:55)
4S9-08 特別企画講演 文化財環境モニターのための小型臭気センサーの開発 (奈良女大理) 竹内孝江 (11:55~12:20)
4S9-09 総合討論 (12:20~12:30)

SA 会場

B館201 教室

第2次先端ウォッチング イブニングセッション
フォトクロミズムとメカニカル機能

3月27日午後

(14:00~17:50)

詳細は別掲ページをご覧ください。

国際シンポジウム『光エネルギーと物質変換』

3月28日午前

(9:45~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月28日午後

(13:00~18:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

持続可能な社会を支える化学、化学技術および化学教育

3月29日午前

座長 奥田 潤 (9:30~10:55)

- 4SA-01** 開会挨拶 (産総研) 島田広道 (09:30~09:40)
4SA-02 特別企画講演 固体ヘテロポリ酸触媒の基盤研究とグリーンプロセスへの貢献 (昭和電工大分コンビナート) 辻 勝行 (09:40~10:05)
4SA-03 特別企画講演 低炭素社会に向けたプラスチック色素増感太陽電池の開発 (桐蔭横浜大院工) 宮坂 力 (10:05~10:30)
4SA-04 特別企画講演 配管抵抗低減剤を用いた省エネルギー技術の開発と実用化 (山口大院理工) 佐伯 隆 (10:30~10:55)

座長 佐藤 一彦 (11:00~12:15)

- 4SA-05** 特別企画講演 化学的に制御された生体触媒反応による環境調和型有機合成反応の開発 (鳥取大院工) 伊藤敏幸 (11:00~11:25)
4SA-06 特別企画講演 種々の活動を通じたグリーン・サステイナブルケミストリーの教育および普及 (東北大名誉) 荻野和子 (11:25~11:50)
4SA-07 特別企画講演 次世代対応型高性能潤滑油の開発と実用化 (シチズン電子・シチズン時計) 赤尾祐司 (11:50~12:15)

SB 会場

B館401 教室

環境・安全シンポジウム 2010 大学・高専における化学
実験室の現状と課題－法人化後の実験施設と安全管理－

3月28日午後

(13:30～17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SC 会場

B館402 教室

産学交流シンポジウム 2010
化学の世界をシミュレーション

3月28日午前

(10:00～12:10)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月28日午後

(13:00～15:10)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SD 会場

B館403 教室

第17回 化学教育フォーラム

3月27日午後

(13:00～16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

A1 会場
21号館 203教室

未来産業を支えるバイオケミカルズ

3月26日午後

- 座長 磯部 直彦 (14:30~15:10)
1A1-34 依頼講演 バイサルファイトフリーなメチル化DNA解析法
 (理研基幹研・JST さきがけ) 岡本晃充 (14:30~15:00)
1A1-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)
- 座長 鴻池 敏郎 (15:10~15:50)
1A1-38 依頼講演 痛風・高尿酸血症治療薬の創製と研究開発戦略(帝
 人) 近藤史郎 (15:10~15:40)
1A1-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

- 座長 和田 健彦 (15:50~16:50)
1A1-42 基調講演 核酸相互作用の熱力学的データを如何に製品開発に
 適用するか(甲南大 FIRST・甲南大 FIBER) 杉本直己 (15:50~16:40)
1A1-47 インキュベーションタイム (16:40~16:50)

(16:50~17:50)

- 1A1-48 パネルディスカッション** 「フロンティアバイオケミカルテ
 クノロジーの利用と産業化」 パネリスト: 杉本 直己・近藤 史
 郎・岡本 晃充・和田 健彦・大橋 武久 コーディネーター: 深瀬
 浩一・鴻池 敏郎 (16:50~17:50)

3月27日午前

- 座長 鴻池 敏郎 (9:30~10:10)
2A1-04 依頼講演 創薬のためのバイオ技術(塩野義製薬・シオノギ創
 薬イノベーションセンター) 〇武本 浩・十亀弘子 (09:30~10:00)
2A1-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

- 座長 深瀬 浩一 (10:10~11:10)
2A1-08 基調講演 単一構造のヒト複合型糖鎖をもつ糖タンパクの化学
 合成(阪大院理) 梶原康宏 (10:10~11:00)
2A1-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

- 座長 跡見 晴幸 (11:10~12:00)
2A1-14 招待講演 擬天然物ペプチドの翻訳合成と薬剤開発への可能性
 (東大先端研) 菅 裕明 (11:10~11:50)
2A1-18 インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月27日午後

- 座長 秋吉 一成 (13:00~13:50)
2A1-25 招待講演 医工学から再生医学へ(京大再生医科学研) 岩田博
 夫 (13:00~13:40)
2A1-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

- 座長 渡邊 英一 (13:50~14:40)
2A1-30 招待講演 内在性蛋白質の選択的ラベル化とイメージング(京
 大院工・JST CREST) 浜地 格 (13:50~14:30)
2A1-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

- 座長 大橋 武久 (14:40~15:40)
2A1-35 基調講演 植物の機能の解明と利用を目指して一有用代謝産物
 生産の試みとイネ科の鉄取り込み機構を中心にー((財)サントリー生
 物有機科学研究所) 楠本正一 (14:40~15:30)
2A1-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

- 座長 須貝 威 (15:40~16:30)
2A1-41 招待講演 グリーンケミストリーを越す配糖化で稼ぐ、産学連
 携ビジネスー岡山理科大学からの挑戦ー(岡山理大理) 濱田博喜
 (15:40~16:20)
2A1-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)

- 座長 鴻池 敏郎 (16:30~17:10)
2A1-46 依頼講演 加水分解酵素の利用と今後の展開(天野エンザイム
 岐阜研究所) 廣瀬芳彦 (16:30~17:00)
2A1-49 インキュベーションタイム (17:00~17:10)

A3 会場
21号館 312教室

物質・エネルギー変換材料

3月26日午前

- 生体触媒**
 (9:30~9:40)
1A3-04 趣旨説明(名工大院工) 増田秀樹 (09:30~09:40)

- 座長 増田 秀樹 (9:40~10:30)
1A3-05 基調講演 生きた微生物を利用するエネルギー変換システム:
 微生物燃料電池、微生物太陽電池(東大院工) 橋本和仁 (09:40~
 10:30)

- 座長 櫻井 武 (10:30~11:40)
1A3-10 依頼講演 異化型亜硫酸還元酵素のX線結晶構造解析(兵衛
 大院生命理) 〇庄村康人・樋口芳樹 (10:30~11:00)
1A3-13 招待講演 生体触媒電極反応とバイオ電池(京大院農) 加納健
 司 (11:00~11:40)

3月26日午後

- 座長 船橋 靖博 (13:50~15:40)
1A3-30 招待講演 ソニーのバイオエレクトロニクス:バイオ電池の研
 究開発事例を中心に(ソニー) 戸木田裕一 (13:50~14:30)
1A3-34 依頼講演 変異導入によるマルチ銅オキシダーゼの触媒機能の
 改変と創製(金沢大院自然科学) 〇櫻井 武・片岡邦重 (14:30~
 15:00)
1A3-37 招待講演 アクリルアミド生産に使われる酵素ニトリルヒドラ
 ターゼの反応機構(東農工大院工) 〇尾高雅文・橋本浩一・山中保
 明・大滝 証・野口恵一・養王田正文 (15:00~15:40)

- 座長 尾高 雅文 (15:40~17:20)
1A3-41 依頼講演 酵素固定化とマイクロリアクタ(鹿児島大院理工)
 有馬一成 (15:40~16:10)
1A3-44 依頼講演 酵素の合理的進化と機能強化(岡山大院自然科学)
 依馬 正 (16:10~16:40)
1A3-47 招待講演 天然の触媒活性を超えるヘムタンパク質の創製をめ
 ざして(阪大院工) 林 高史 (16:40~17:20)

3月27日午前

- ナノパーティクルテクノロジー**
 (9:20~9:30)
2A3-03 趣旨説明(名工大院工) 増田秀樹 (09:20~09:30)

- 座長 増田 秀樹 (9:30~10:20)
2A3-04 基調講演 ナノ粒子技術:情報と触媒への応用(山口東理大
 工) 戸嶋直樹 (09:30~10:20)

- 座長 山田 真実 (10:30~12:00)
2A3-10 依頼講演 ソリユーションプラズマ利用したナノ粒子の合成と
 機能化(名大エコトピア) 齋藤永宏 (10:30~11:00)
2A3-13 招待講演 酸化窒素系ナノ粒子を用いる水の高効率光分解触媒
 の開発(東大院工) 堂免一成 (11:00~11:40)
2A3-17 口頭C講演 小粒径Pdナノ粒子を捕捉した多孔性ポリマー:
 炭素クロスカップリング反応に対して機能する高活性・高耐久性触媒
 (川村理研) 〇加藤慎治・小笠原 伸 (11:40~12:00)

3月27日午後

- 座長 猪股 智彦 (14:30~15:40)
2A3-34 招待講演 高分子ナノ粒子ワクチン:新しいアジュバントの開
 発(阪大院工・鹿児島大院医歯学・阪大院医・JST CREST) 〇明石
 満・赤木隆美・馬場昌範・異 智秀 (14:30~15:10)
2A3-38 依頼講演 目的指向改変タンパク質によるナノ構造作製:ウ
 エットナノテクノロジーの薦め(奈良先端物質創成) 山下一郎
 (15:10~15:40)

- 座長 小西 克明 (15:40~16:50)
2A3-41 招待講演 メタロドンドリマーによる新金属の創製(東工大)
 山元公寿 (15:40~16:20)

2A3-45 依頼講演 集積型金属錯体ナノ粒子の合成と物性—複合金属ナノ材料前駆体としての活用 (東農大院共生・JST さきがけ) 山田真実 (16:20~16:50)

座長 山元 公寿 (16:50~18:00)

2A3-48 依頼講演 クラスタ性ナノ金属種の無機表面で起こる化学事象の探索 (北大院地球環境) 小西克明 (16:50~17:20)

2A3-51 招待講演 金クラスター触媒による高難度反応の開拓 (首都大都市環境・JST-CREST) 春田正毅 (17:20~18:00)

A4 会場

21号館 313教室

ディスプレイ材料の開発最前線

3月26日午前

(9:20~9:30)

1A4-03 オーガナイザー挨拶 (産総研光技術) 鎌田俊英 (09:20~09:30)

塗布型OLED (1)

座長 鎌田 俊英 (9:30~11:20)

1A4-04 基調講演 有機ELの将来展望 (山形大工) 城戸淳二 (09:30~10:20)

1A4-09 インキュベーションタイム (10:20~10:30)

1A4-10 招待講演 塗布技術で作製する有機EL素子 (富山大院理工) ○岡田裕之・中 茂樹 (10:30~11:10)

1A4-14 インキュベーションタイム (11:10~11:20)

座長 梶井 博武 (11:20~12:30)

1A4-15 依頼講演 高分子OLED材料の動向 (住友化学筑波研) 山田武 (11:20~11:50)

1A4-18 インキュベーションタイム (11:50~12:00)

1A4-19 依頼講演 リン光性高分子材料における電荷輸送性の制御と素子への応用 (NHK 技研) ○本村玄一・時任静士 (12:00~12:30)

3月26日午後

塗布型OLED (2)

座長 岡田 裕之 (13:30~15:40)

1A4-28 招待講演 超希薄溶液濃縮スプレイ法(ESDUS)による有機ELの作成 (九大先導研) 藤田克彦 (13:30~14:10)

1A4-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

1A4-33 依頼講演 共役ポリマーによる印刷技術で作製する有機発光・受光素子 (阪大先端科学イノベーションセンター) ○梶井博武・大森裕 (14:20~14:50)

1A4-36 インキュベーションタイム (14:50~15:00)

1A4-37 依頼講演 有機EL素子作製のためのノズルプリンティング技術 (大日本スクリーン製造) 塩田明仁 (15:00~15:30)

1A4-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

座長 藤田 克彦 (15:40~16:50)

1A4-41 依頼講演 有機EL素子作製のためのスリットコート技術 (タツモ開発部) 山本 稔 (15:40~16:10)

1A4-44 インキュベーションタイム (16:10~16:20)

1A4-45 依頼講演 インクジェット技術とその応用展開 (ブラザー工業技術開発部) 井上豊和 (16:20~16:50)

3月27日午前

OLED照明

座長 岡田 久 (9:30~11:00)

2A4-04 招待講演 新分子で先導する有機エレクトロニクス研究 (東大院理・ERATO JST) 中村栄一 (09:30~10:10)

2A4-08 インキュベーションタイム (10:10~10:20)

2A4-09 依頼講演 有機EL照明の開発動向と将来展望 (パナソニック電工 先行技術開発研究所) 蒺田卓哉 (10:20~10:50)

2A4-12 インキュベーションタイム (10:50~11:00)

座長 吉田 学 (11:00~12:10)

2A4-13 依頼講演 有機EL照明の基盤技術 (名大院工) 森 竜雄 (11:00~11:30)

2A4-16 インキュベーションタイム (11:30~11:40)

2A4-17 依頼講演 白色有機ELパネル技術とその事業化 (東北デバイス) 赤星 治 (11:40~12:10)

3月27日午後

プリンタブルエレクトロニクス

座長 森 竜雄 (13:10~15:20)

2A4-26 招待講演 塗布型有機半導体材料の開発 (広島大院工) 瀧宮和男 (13:10~13:50)

2A4-30 インキュベーションタイム (13:50~14:00)

2A4-31 依頼講演 量産プロセスのための有機半導体と絶縁膜材料の開発 (メルク・Merck Chemicals Ltd.,UK) ○川俣康弥・G. Lloyd・M. Carrasco-Orozco・C. Leonhard・T. Cull・D. Mueller・P. Brookes・P. Miskiewicz・F. Meyer (14:00~14:30)

2A4-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

2A4-35 依頼講演 印刷デバイス作製の低温プロセス化技術 (産総研光技術) ○吉田 学・鎌田俊英 (14:40~15:10)

2A4-38 インキュベーションタイム (15:10~15:20)

座長 瀧宮 和男 (15:20~16:30)

2A4-39 依頼講演 オールウェットプロセス有機TFTアレイ駆動による有機ELパネル (バイオニア) ○中馬 隆・大田 悟・秦 拓也・原田千寛・石塚真一・佐藤英夫・越智英夫・荒井和明・吉澤淳志 (15:20~15:50)

2A4-42 インキュベーションタイム (15:50~16:00)

2A4-43 依頼講演 高精度印刷有機TFT技術 (リコー 研究開発本部) 田野隆徳 (16:00~16:30)

A5 会場

21号館 314教室

ディスプレイ材料の開発最前線

3月26日午前

電子ペーパー

(9:00~9:10)

1A5-01 オーガナイザー挨拶 (千葉大院融合科学) 小林範久 (09:00~09:10)

座長 小林 範久 (9:10~11:10)

1A5-02 招待講演 電子ペーパーの研究・開発動向 (東海大工) 面谷信 (09:10~09:50)

1A5-06 インキュベーションタイム (09:50~10:00)

1A5-07 依頼講演 シロキサン系ポリマーを用いたデバイス特性の向上 (広島大院工) 今柴一郎 (10:00~10:30)

1A5-10 インキュベーションタイム (10:30~10:40)

1A5-11[#] 口頭C講演 有機/金属ハイブリッドポリマーの合成とスマートウインドウへの応用 (物材機構) ○張 健・赤坂 夢・樋口昌芳 (10:40~11:00)

1A5-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

座長 面谷 信 (11:10~12:30)

1A5-14 依頼講演 視覚特性と電子ペーパーの見え (千葉大院融合科学) 溝上陽子 (11:10~11:40)

1A5-17 インキュベーションタイム (11:40~11:50)

1A5-18 依頼講演 電子ペーパーの駆動とバックプレーン技術 (九大産学連携センター) 服部励治 (11:50~12:20)

1A5-21 インキュベーションタイム (12:20~12:30)

3月26日午後

座長 小澤 伸二 (13:30~15:00)

1A5-28 招待講演 リライタブル記録と電子ペーパーの最新動向 (リコー) 堀田吉彦 (13:30~14:10)

1A5-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

1A5-33 依頼講演 紙だからできること、紙だから表現できる魅力 (竹尾) 栗原耕治 (14:20~14:50)

1A5-36 インキュベーションタイム (14:50~15:00)

座長 今柴 一郎 (15:00~16:00)

1A5-37 口頭C講演 電子ペーパー用新規エレクトロクロミック高分子 (クラレ つくば研究センター) 近藤芳朗○田邊裕史・大竹富明 (15:00~15:20)

1A5-39 インキュベーションタイム (15:20~15:30)

1A5-40⁺ 口頭C講演 表示素子材料として光・電子機能性高分子薄膜の開発 (九大院工) ○金 善南・坂野 豪・伊藤冬樹・長村利彦・田中章博・小澤雅昭 (15:30~15:50)

1A5-42 インキュベーションタイム (15:50~16:00)

座長 堀田 吉彦 (16:00~18:00)

- 1A5-43 依頼講演 フレキシブル液晶ディスプレイの研究開発 (NHK 技研) 藤掛英夫 (16:00~16:30)
- 1A5-46 インキュベーションタイム (16:30~16:40)
- 1A5-47 依頼講演 電子ペーパー-QR-LPD™ (ブリヂストン電子ペーパー事業部) 増田善友 (16:40~17:10)
- 1A5-50 インキュベーションタイム (17:10~17:20)
- 1A5-51 依頼講演 電子ペーパーの業務への応用 (ブラザー工業 NID 開発部) 藤井則久 (17:20~17:50)
- 1A5-54 インキュベーションタイム (17:50~18:00)

A6 会場

21号館 318教室

デジタルファブ리케이션への取り組み最前線

3月26日午前

座長 松本 和正 (10:30~12:00)

- 1A6-10 基調講演 デジタル・バイオ・ファブ리케이션: ポストiPS細胞時代を拓く技術 (富山大院理工) ○中村真人・岩永進太郎・荒井健一 (10:30~11:20)
- 1A6-15 招待講演 デジタルファブ리케이션の医療への応用 (阪大院歯・バイオニック) 荘村泰治 (11:20~12:00)

3月26日午後

座長 西 真一 (13:00~14:30)

- 1A6-25 基調講演 巨大プリンテッド・エレクトロニクス市場の形成と材料技術 (阪大産研) 菅沼克昭 (13:00~13:50)
- 1A6-30 招待講演 ナノメタル分散インクによる導電性薄膜のインクジェット製膜法 (アルバック 千葉超材料研究所) ○小田正明・崎尾進・林 茂雄・大沢正人・林 義明・鄭 久紅・藤丸 篤・多田彦剛・橋本夏樹 (13:50~14:30)

座長 藤井 雅彦 (14:40~16:00)

- 1A6-35 招待講演 商業印刷向け高速インクジェットプリントシステムにおける材料開発 (富士フイルム) 小田晃央 (14:40~15:20)
- 1A6-39 招待講演 デジタルプリント技術の産業分野への応用展開 (大日本スクリーン製造) 鶴谷佳憲 (15:20~16:00)

A7 会場

21号館 319教室

微細パターン化技術と材料の織成す未来像

3月26日午前

次世代リソグラフィ

(9:50~10:00)

- 1A7-06 オーガナイザー挨拶 (阪大産研) 古澤孝弘 (09:50~10:00)

座長 古澤 孝弘 (10:00~12:00)

- 1A7-07 基調講演 半導体リソグラフィの将来展望と挑戦 (東芝研究開発センター デバイスプロセス開発センター リソグラフィプロセス技術開発部) 東木達彦 (10:00~10:50)
- 1A7-12 招待講演 ラジカル逐次反応を活用する EUV 用ネガ型レジスト (阪府大院工) 白井正充 (10:50~11:30)
- 1A7-16 依頼講演 JSR における EUV リソグラフィ材料の開発 -現状と今後- (JSR 精密電子研) ○木村 徹・丸山 研・志水 誠・甲斐敏之・山口佳一 (11:30~12:00)

3月26日午後

座長 白井 正充 (13:00~15:30)

- 1A7-25 招待講演 EUV レジストプロセス開発状況 (半導体先端テクノロジーズ) 井谷俊郎 (13:00~13:40)
- 1A7-29 招待講演 EUV 光による干渉露光 (兵庫県高度産業科学技術研) 渡邊健夫 (13:40~14:20)
- 1A7-33 依頼講演 次世代リソグラフィ用材料の設計指針 (阪大産研・JST-CREST) ○古澤孝弘・田川精一 (14:20~14:50)
- 1A7-36 依頼講演 次世代リソグラフィ用材料開発の現状 (東京応化工業 開発本部 次世代材料開発部) 佐藤和史 (14:50~15:20)
- 1A7-39 インキュベーションタイム (15:20~15:30)

座長 太田 克 (15:30~17:10)

- 1A7-40 依頼講演 ネガ現像用 ArF 液浸レジスト材料の開発 (富士フイルム) 樽谷晋司 (15:30~16:00)
- 1A7-43 招待講演 noria を基盤とした EB および EUV 分子レジストの開発 (神奈川大工) ○工藤宏人・西久保忠臣 (16:00~16:40)
- 1A7-47 口頭 D 講演 フラレン誘導体を基盤材料とした EUV 用ポジ型分子レジストの開発 (三菱化学科学技術研究センター・三菱化学・半導体先端テクノロジーズ) ○川上公德・田中克知・老泉博昭・井谷俊郎 (16:40~17:10)

3月27日午前

自己組織化による微細パターン形成

(9:20~9:30)

- 2A7-03 オーガナイザー挨拶 (名大院工) 関 隆広 (09:20~09:30)

座長 関 隆広 (9:30~12:00)

- 2A7-04 基調講演 高分子ミクロ相分離のナノ構造制御とテンプレート物性工学 (東工大資源研) 彌田智一 (09:30~10:20)
- 2A7-09 招待講演 16nm 技術ノードへ向けたブロック共重合体リソグラフィ (NTT 物性基礎研) ○山口 徹・山口浩司 (10:20~11:00)
- 2A7-13 依頼講演 可動な微細なシワ: マイクロリンクル (産総研ナノテク) ○大園拓哉・物部浩達・清水 洋 (11:00~11:30)
- 2A7-16 依頼講演 コアシェル型粒子の自己組織化による表面ナノポア形成 (慶大院理工) ○藤本啓二・渡辺英明 (11:30~12:00)

3月27日午後

座長 彌田 智一 (13:00~15:40)

- 2A7-25 招待講演 高分子ブロック共重合体の Chemically Directed Self-assembly による高密度パターン形成 (日立材料研・京大院工) ○吉田博史・多田靖彦・赤坂 哲・竹中幹人・長谷川博一 (13:00~13:40)
- 2A7-29 依頼講演 ブロック共重合体表面ミセルの高精度形成と応用 (名大院工・JST さきがけ) 永野修作 (13:40~14:10)
- 2A7-32 招待講演 自己組織化材料の大容量記録媒体への応用 (東芝研究開発センター 記憶材料・デバイスラボラトリー) 木原尚子 (14:10~14:50)
- 2A7-36 招待講演 ガイドによる3成分トリブロック共重合体の自己組織化構造制御 (京大院工・アテネ大) ○長谷川博一・赤坂 哲・三谷明子・阪口 豪・逢坂武次・HADJICHRISTIDIS N.・IATROU H. (14:50~15:30)
- 2A7-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

座長 長谷川 博一 (15:40~17:40)

- 2A7-41 依頼講演 ナノドットアレイ技術 (王子製紙) 篠塚 啓 (15:40~16:10)
- 2A7-44 口頭 C 講演 ラジカル/イオン含有ミクロ相分離膜の有機メモリ素子への応用 (早大理工) ○須賀健雄・竹内尚哉・阪田美紀・西出宏之 (16:10~16:30)
- 2A7-46 口頭 D 講演 ナノ電解法による有機導電体ナノ単結晶の位置選択的成膜技術とデバイス作製 (情報通信研神戸・JST さきがけ) ○長谷川裕之 (16:30~17:00)
- 2A7-49 招待講演 アルミナナノホールアレーにもとづく微細構造の形成と機能化 (首都大院都市環境・KAST) ○益田秀樹・西尾和之 (17:00~17:40)

A8 会場

21号館 320教室

微細パターン化技術と材料の織成す未来像

3月27日午前

ナノインプリント

座長 平井 義彦 (9:30~12:00)

- 2A8-04 オーガナイザー挨拶 (兵庫県高度産業科学技術研) 松井真二 (09:30~09:40)
- 2A8-05 基調講演 ナノインプリント技術の未来像 (兵庫県高度産業科学技術研) 松井真二 (09:40~10:30)
- 2A8-10 招待講演 光ナノインプリントを応用した光通信用レーザーの回折格子作製プロセス (住友電工伝送デバイス研・東理大基礎工) ○柳沢昌輝・辻 幸弘・吉永弘幸・河野直哉・平塚健二・谷口 淳 (10:30~11:10)
- 2A8-14 依頼講演 樹脂モールドを用いた高輝度 LED 用ナノインプリントプロセス (東芝機械 ナノ加工システム事業部) 西原浩巳 (11:10~11:40)
- 2A8-17 インキュベーションタイム (11:40~12:00)

3月27日午後

座長 中川 勝 (13:00~14:50)

- 2A8-25 招待講演** 光ナノインプリントプロセス (産総研・JST-CREST) 廣島 洋 (13:00~13:40)
2A8-29 招待講演 光ナノインプリントプロセスシミュレーション (阪府大院工・JST-CREST) 平井義彦 (13:40~14:20)
2A8-33 依頼講演 光ナノインプリント用樹脂モールド (綜研化学 NIP 製品プロジェクト) ○三澤毅秀・山田紘子・上原 諭 (14:20~14:50)

座長 廣島 洋 (15:00~16:30)

- 2A8-37 招待講演** ナノインプリント密着層および離型層の材料化学 (東北大多元研) 中川 勝 (15:00~15:40)
2A8-41 依頼講演 光ナノインプリント用樹脂の特性評価 (ダイセル化学工業) ○三宅弘人・湯川隆生・高井英行・伊吉就三 (15:40~16:10)
2A8-44 インキュベーションタイム (16:10~16:30)

H2 会場 B館201 教室

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月26日午前

次世代太陽光発電技術

(9:00~9:10)

- 1H2-01** オーガナイザー挨拶 (東大先端研) 瀬川浩司 (09:00~09:10)

座長 原 浩二郎 (9:10~10:40)

- 1H2-02 口頭C講演** ハイブリッド/タンデム色素増感太陽電池のポトム電極用近赤外色素の研究 (九工大院生命体工・新日鐵化学) Shyam S. Pandey○尾込裕平・朴 併煜・井上嵩文・藤川直耕・河野 充・山口能弘・早瀬修二 (09:10~09:30)
1H2-04 口頭C講演 ガラスメッシュ電極を用いたタンデム色素増感太陽電池 (九工大院生命体工・新日鐵化学) ○宇崎健史郎・井上喬文・高下洋平・尾込裕平・Shyam S. Pandey・河野 充・山口能弘・早瀬修二 (09:30~09:50)
1H2-06 口頭C講演 メッシュ電極を用いた円筒形色素増感太陽電池 (九工大院生命体工・新日鐵化学) ○宇佐川 準・朴 併煜・宇崎健史郎・幸後 健・尾込裕平・河野 充・山口能弘・早瀬修二 (09:50~10:10)
1H2-08 依頼講演 高性能増感色素および新構造の色素増感太陽電池 (産総研エネルギー技術 太陽光エネルギー変換G) 佐山和弘 (10:10~10:40)

座長 久保 貴哉 (10:40~12:10)
1H2-11 依頼講演 塗布プロセスによる有機・無機ハイブリッド太陽電池の開発 (桐蔭横浜大院工) ○宮坂 力・池上和志 (10:40~11:10)
1H2-14 口頭C講演 ケイ素高分子を用いた有機薄膜太陽電池への応用 (産総研光技術) ○橋 浩昭・杉山 泰・水野冬矢 (11:10~11:30)
1H2-16 招待講演 化合物薄膜太陽電池の現状と今後の展望 (龍谷大理工) 和田隆博 (11:30~12:10)

3月26日午後

座長 佐山 和弘 (13:10~14:50)

- 1H2-26 依頼講演** タンデム色素増感太陽電池 (九工大院生命体工) Shyam S. Pandey○早瀬修二 (13:10~13:40)
1H2-29 依頼講演 貴金属フリー有機色素を用いた色素増感太陽電池の高性能化 (産総研太陽光発電研究センター・産総研光技術) ○原浩二郎・甲村長利 (13:40~14:10)
1H2-32 招待講演 有機系太陽電池の新展開 (東大先端研) 瀬川浩司 (14:10~14:50)

座長 但馬 敬介 (15:00~16:30)
1H2-37 依頼講演 共役系高分子を用いたプリンタブル有機太陽電池の開発 (住友化学筑波研) 三宅邦仁 (15:00~15:30)
1H2-40 依頼講演 近赤外色素増感型有機薄膜太陽電池の開発その分光研究 (京大院工) ○伊藤紳三郎・大北英生 (15:30~16:00)
1H2-43 依頼講演 有機薄膜太陽電池のナノ構造制御 (分子研 分子スケールナノサイエンスセンター) ○池滝何以・嘉治寿彦・平本昌宏 (16:00~16:30)

座長 伊藤 紳三郎 (16:40~18:00)

- 1H2-47 依頼講演** 有機薄膜太陽電池用 新規ドナーの研究開発 (東レ電子情報材料研究所) ○北澤大輔・渡辺伸博・山本修平・塚本 遵 (16:40~17:10)
1H2-50 依頼講演 有機薄膜太陽電池の劣化機構の解明 (産総研太陽光発電研究センター) ○山成敏広・吉田郵司 (17:10~17:40)

- 1H2-53 口頭C講演** 高分子太陽電池のバルクヘテロ接合の設計と光電流特性 (京大エネ研) ○佐川 尚・吉川 暹 (17:40~18:00)

3月27日午前

座長 宮坂 力 (9:00~10:30)

- 2H2-01 依頼講演** ポリマー薄膜太陽電池・電子デバイスのナノ構造制御 (東大院工・ERATO-JST) ○但馬敬介・橋本和仁 (09:00~09:30)
2H2-04 依頼講演 ラジカル高分子の電荷輸送能と色素増感太陽電池への応用 (早大理工) 西出宏之 (09:30~10:00)
2H2-07 依頼講演 色素増感太陽電池の実用化に向けて (東理大工) 荒川裕則 (10:00~10:30)

座長 瀬川 浩司 (10:30~11:20)

- 2H2-10 基調講演** 太陽電池開発の現状と将来展望-2030年、2050年に向けての挑戦 (東工大理工工) 小長井 誠 (10:30~11:20)

(11:30~13:00)

- 2H2-16 パネルディスカッション** 「低炭素社会の実現に向けた次世代太陽電池の開発」パネリスト: 荒川 裕則・西出 宏之・宮坂 力・塚本 遵・但馬 敬介 コーディネーター: 瀬川 浩司 (11:30~13:00)

H3 会場 B館203 教室

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月26日午前

燃料電池・水素エネルギー技術

(9:40~9:50)

- 1H3-05** オーガナイザー挨拶 (同志社大理工) 稲葉 稔 (09:40~09:50)

座長 稲葉 稔 (9:50~10:50)
1H3-06 基調講演 固体高分子形燃料電池の実用化に向けた材料開発-課題とNEDO「HiPer-FCプロジェクト」における取り組み (山梨大燃料電池ナノ材料研究センター) 渡辺政廣 (09:50~10:40)
1H3-11 インキュベーションタイム (10:40~10:50)

座長 黒松 秀寿 (10:50~11:50)

- 1H3-12 依頼講演** 白金担持カーボンの劣化現象 (産総研ユビキタスエネルギー) 安田和明 (10:50~11:20)
1H3-15 インキュベーションタイム (11:20~11:30)
1H3-16 口頭C講演 ロジウムポルフィリンによる電気化学的酸化反応とその燃料電池アノードとしての可能性 (産総研ユビキタスエネルギー) ○山崎眞一・八尾 勝・妹尾 博・藤原直子・五百蔵 勉・城間 純・安田和明 (11:30~11:50)

3月26日午後

座長 安田 和明 (12:50~14:20)

- 1H3-24 依頼講演** PEFC用炭化水素系電解質膜の開発 (カネカ) 黒松秀寿 (12:50~13:20)
1H3-27 インキュベーションタイム (13:20~13:30)
1H3-28 招待講演 自動車用燃料電池開発の現状 (日産自動車 総合研究所 燃料電池研究室) 篠原和彦 (13:30~14:10)
1H3-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

座長 内本 喜晴 (14:20~15:50)

- 1H3-33 依頼講演** TOTOにおける家庭用SOFCシステムの開発状況 (TOTO 燃料電池事業推進部) 中野清隆 (14:20~14:50)
1H3-36 インキュベーションタイム (14:50~15:00)
1H3-37 招待講演 大阪ガスにおける燃料電池開発状況 (大阪ガス 燃料電池システム部) 伊中秀樹 (15:00~15:40)
1H3-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

座長 篠原 和彦 (15:50~17:20)

- 1H3-42 依頼講演** 燃料電池用触媒の開発 (AGC 旭硝子中央研究所) 吉武 優 (15:50~16:20)
1H3-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)
1H3-46 招待講演 モデル電極及びX線吸収を用いたPEFC白金触媒の活性及び劣化機構の解明 (京大院入塾) 内本喜晴 (16:30~17:10)
1H3-50 インキュベーションタイム (17:10~17:20)

座長 吉武 優 (17:20~18:00)

- 1H3-51 口頭C講演** 構造規制白金超薄膜における酸素還元触媒能評価 (お茶大) ○近藤敏啓・林 直子・野津英男・八木一三 (17:20~17:40)

1H3-53 口頭C講演 白金/ポリピロールコンポジット触媒層を用いた膜-電解質接合体からの白金溶出の抑制機構 (神戸大院工) ○水畑 穰・松本克公 (17:40~18:00)

3月27日午前

座長 角掛 繁 (10:00~11:00)

2H3-07 基調講演 燃料電池を核とした水素エネルギー技術の現状と将来展望 (九大水素エネルギー国際研究センター) 佐々木一成 (10:00~10:50)

2H3-12 インキュベーションタイム (10:50~11:00)

座長 佐々木 一成 (11:00~12:00)

2H3-13 依頼講演 高容量水素吸蔵合金とハイブリッド水素貯蔵タンクの開発 (日本重化学工業 金属事業部) 角掛 繁 (11:00~11:30)

2H3-16 インキュベーションタイム (11:30~11:40)

2H3-17 口頭C講演 水素社会に向けた水素吸蔵材料の開発 (新日本石油中央技術研究所) ○蓑田 愛・大島伸司・小堀良浩・巻岐 英 (11:40~12:00)

3月27日午後

座長 栗山 信宏 (13:00~14:30)

2H3-25 招待講演 エア・リキードグループの水素エネルギー関連技術のご紹介 (日本エア・リキード/ジャパン・エア・ガシズ社) 平瀬 育生 (13:00~13:40)

2H3-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

2H3-30 依頼講演 燃料電池小型移動体の開発 (栗本鐵工所 技術開発本部) 山室成樹 (13:50~14:20)

2H3-33 インキュベーションタイム (14:20~14:30)

座長 平瀬 育生 (14:30~15:40)

2H3-34 招待講演 水素貯蔵材料の展開 (産総研ユビキタスエネルギー 新エネルギー媒体研究G) 栗山信宏 (14:30~15:10)

2H3-38 インキュベーションタイム (15:10~15:20)

2H3-39 口頭C講演 マイクロ波-メタン分解による新規水素製造システムの開発 (日大工) ○神谷和憲・平山和雄・中山一男 (15:20~15:40)

H4 会場

B館204 教室

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月26日午前

次世代蓄電技術

座長 安部 武志 (10:00~12:00)

1H4-07 基調講演 持続的発展社会における二次電池の役割と課題 (京大産官学連携センター・NEDO) 小久見善八 (10:00~10:50)

1H4-12 招待講演 安全性に優れた新型二次電池 SCiB と車載応用 (東芝) 小杉伸一郎 (10:50~11:30)

1H4-16 依頼講演 次世代大型リチウム蓄電池に向けた正極材料開発と反応機構解析 (東大院工) 山田淳夫 (11:30~12:00)

3月26日午後

座長 岡田 重人 (13:40~14:40)

1H4-29 依頼講演 フッ素エーテルを用いた電解液の特性 (ダイキン工業 化学研究開発センター) ○高 明天・坂田英郎・中澤 瞳・山内昭佳 (13:40~14:10)

1H4-32 依頼講演 イオン液体のリチウム二次電池電解質への応用 (産総研ユビキタスエネルギー 蓄電デバイス研究G) 松本 一 (14:10~14:40)

座長 今西 誠之 (14:40~15:40)

1H4-35 口頭C講演 各種分光測定による高出力型リチウムイオン電池の負極の評価 (産総研ユビキタス) ○堀 博伸・鹿野昌弘・小池伸二・柴部比夏里・齋藤喜康・辰巳国昭 (14:40~15:00)

1H4-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)

1H4-38 依頼講演 ナトリウムイオン電池用正極活物質 (九大先導研) 岡田重人 (15:10~15:40)

座長 松本 一 (15:40~16:40)

1H4-41 依頼講演 Mg 二次電池~その可能性と技術課題~ (山口大院理工・JST-CREST) ○吉本信子・森田昌行 (15:40~16:10)

1H4-44 依頼講演 Li-空気二次電池の現状と課題 (三重大工) 今西誠之 (16:10~16:40)

H5 会場

B館301 教室

フォトニクス材料・デバイスがもたらす Face-to-Face コミュニケーションの世界

3月26日午前

(11:00~11:10)

1H5-13 開会の辞 (慶大院理工) 小池康博 (11:00~11:10)

座長 小池 康博 (11:10~12:00)

1H5-14 基調講演 液晶ディスプレイの新展開 (東北大工) 内田龍男 (11:10~12:00)

3月26日午後

座長 横山 士吉 (13:00~14:40)

1H5-25 招待講演 高精細ディスプレイと高速伝送 (ソニー) 瀧塚博志 (13:00~13:40)

1H5-29 招待講演 フォトニクスポリマーが拓く高精細ディスプレイ (慶大理工・ERATO-SORST/JST) 多加谷明広 (13:40~14:20)

1H5-33 口頭C講演 常温大気中での長励起状態寿命状態を有する有機材料によって発現する蓄光機能や低閾値過飽和吸収機能 (九大未来化学創造センター) ○平田修造・戸谷健朗・安達千波矢 (14:20~14:40)

座長 小池 康博 (14:50~17:20)

1H5-36 招待講演 宅内高速光ネットワークへ向けて (積水化学工業 環境ライフラインカンパニー) 谷口輝行 (14:50~15:30)

1H5-40 招待講演 低電力・超高速光変調器を目指した高効率電気光学ポリマーの開発 (九大先導研) 横山士吉 (15:30~16:10)

1H5-45 インキュベーションタイム (16:20~17:20)

3月27日午後

座長 西井 準治 (13:00~14:20)

2H5-25 招待講演 光信号処理のための新光導波路材料 (豊田大院工) 大石泰丈 (13:00~13:40)

2H5-29 招待講演 ボード内チップ間波長多重光配線 (産総研・京工繊大) ○金高健二・裏 升吾 (13:40~14:20)

座長 金高 健二 (14:20~15:00)

2H5-33 招待講演 サブ波長光学素子の情報家電への応用 (北大電子研) 西井準治 (14:20~15:00)

座長 西井 準治・小池 康博 (15:00~16:00)

2H5-37 インキュベーションタイム (15:00~16:00)

H7 会場

B館402 教室

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月26日午前

資源を考慮した材料戦略

(9:30~9:40)

1H7-04 オルガナイザー趣旨説明 中村 崇 (09:30~09:40)

座長 中村 崇 (9:40~10:30)

1H7-05 基調講演 材料ユビキタス元素協同戦略 (東工大応セラ研) 細野秀雄 (09:40~10:30)

座長 多田 啓司 (10:30~12:00)

1H7-10 招待講演 資源利用のサステナビリティの課題 (物材機構 元素戦略センター) 原田幸明 (10:30~11:10)

1H7-14 インキュベーションタイム (11:10~11:20)

1H7-15 招待講演 リチウム資源の現状 (九大院工・三菱商事 自動車関連ユニット) 太田辰夫 (11:20~12:00)

3月26日午後

(13:00~14:00)

1H7-25 パネルディスカッション 「資源を考慮した材料戦略」 パネリスト: 細野 秀雄・原田 幸明・太田 辰夫・岡部 徹・白鳥

寿一・玉田 正男 コーディネーター：中村 崇 (13:00~14:00)

座長 多田 啓司 (14:00~14:30)

1H7-31 依頼講演 省インジウム ITO スパッタ技術の現状 (東北大多元研) 大塚 誠 (14:00~14:30)

座長 佐々木 崇夫 (14:30~17:20)

1H7-34 招待講演 レアメタルのリサイクル (東大生研) 岡部 徹 (14:30~15:10)

1H7-38 依頼講演 廃小型家電品のリサイクル (東北大院環境) 白鳥 寿一 (15:10~15:40)

1H7-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

1H7-42 招待講演 豊富な海水からのウラン資源の捕集技術 (原子力機構 量子ビーム応用研究部門) 玉田正男 (15:50~16:30)

1H7-46 依頼講演 下水からのリン除去・資源化 (旭化成ケミカルズ) 清水 正 (16:30~17:00)

1H7-49 口頭 C 講演 ビタミン B₁₂ と光駆動型触媒システムを用いた無機ヒ素の無毒化処理とレアメタルのリサイクル技術の開発 (日本板硝子研究開発部) ○中村浩一郎 (17:00~17:20)

3月27日午前

革新的省エネ・省資源プロセス

(9:20~9:30)

2H7-03 オーガナイザー挨拶 (カネカ RD 推進部) 井上健二 (09:20~09:30)

座長 井上 健二 (9:30~10:30)

2H7-04 基調講演 省エネ・省資源と環境保全に貢献する触媒プロセス (東工大資源研) 辰巳 敬 (09:30~10:20)

2H7-09 インキュベーションタイム (10:20~10:30)

座長 辰巳 敬 (10:30~12:00)

2H7-10 招待講演 化学産業の原料転換とエネルギー (三菱化学科学技術研究センター) 瀬戸山 亨 (10:30~11:10)

2H7-14 招待講演 エクセルギー再生とエネルギーと物質の併産 (東大生研) 堤 敦司 (11:10~11:50)

2H7-18 インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月27日午後

座長 瀬戸山 亨 (13:00~14:20)

2H7-25 招待講演 省資源を目指すプロセス転換の鍵を握る触媒技術 (日本触媒) 常木英昭 (13:00~13:40)

2H7-29 依頼講演 環境負荷軽減するバイオ技術 (デュボン 先端技術研究所) 賀来群雄 (13:40~14:10)

2H7-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

座長 常木 英昭 (14:20~15:30)

2H7-33 依頼講演 バイオマスと二酸化炭素の再生可能原料化に向けて (三井化学触媒研) ○藤原謙二・和田光史 (14:20~14:50)

2H7-36 依頼講演 天然ガスの液体燃料化(GTL)技術実証研究 (日本GTL 技術研究組合 技術部) 水田美能 (14:50~15:20)

2H7-39 インキュベーションタイム (15:20~15:30)

座長 沼田 収平 (15:30~16:40)

2H7-40 依頼講演 高勾配磁気分離機による FCC 廃触媒削減技術 (新日本石油 中央研) 迫田尚夫 (15:30~16:00)

2H7-43 依頼講演 超音波霧化によるエタノール濃縮分離—ミスト発生機構の局所解析からプロセス開発へ— (同志社大院工) 土屋活美 (16:00~16:30)

2H7-46 インキュベーションタイム (16:30~16:40)

座長 井上 健二 (16:40~17:30)

2H7-47 口頭 C 講演 遊離脂肪酸高含有油を原料としたイオン交換樹脂法による簡便なバイオディーゼル燃料連続生産プロセスの構築 (東北大工) ○北川尚美・辻 崇裕・久保正樹・米本年邦 (16:40~17:00)

2H7-49 口頭 D 講演 PET ボトルのリサイクル：解重合・再重合・再ボトル化におけるマイクロ波加熱の有用性 (崇城大工) ○池永和敏・梁瀬淳一郎・今藤真人・小野文也・山本雅洋・出蔵 剛・亀山武彦 (17:00~17:30)

H8 会場

B館403 教室

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月26日午前

環境の保全・浄化・分析のための新技術

(9:00~9:10)

1H8-01 オーガナイザー挨拶 (阪府大院工) 坂東 博 (09:00~09:10)

座長 堀 久男 (9:10~11:50)

1H8-02 基調講演 持続可能な社会に向けた環境修復浄化技術の開発 (産業環境管理協会) 指宿堯嗣 (09:10~10:00)

1H8-07 招待講演 産業排水からの水回収・物質回収技術の進展 (オルガノ 開発センター) 明賀春樹 (10:00~10:40)

1H8-11 インキュベーションタイム (10:40~10:50)

1H8-12 依頼講演 腐植物質の機能による有機ハロゲン化合物の無害化 (北大院工) 福嶋正巳 (10:50~11:20)

1H8-15 依頼講演 植物による土壌浄化 (ファイトレメディエーション) (産総研環境管理技術) 飯村洋介 (11:20~11:50)

座長 福嶋 正巳 (11:50~12:30)

1H8-18 口頭 C 講演 生物に対して毒性を持つ金属酸化物イオンに対する硫酸イオンによる拮抗的影響の Biotic Ligand Model を用いた予測 (東京高専) ○小林一輝・庄司 良 (11:50~12:10)

1H8-20 口頭 C 講演 オゾン酸化剤とした揮発性有機化合物の触媒酸化分解技術 (九大) ○永長久寛・寺岡靖剛・尾形 敦 (12:10~12:30)

3月26日午後

座長 福嶋 正巳 (13:30~14:10)

1H8-28 招待講演 New POPs(残留性有機汚染物質)の分析法について (島津テクノリサーチ 調査研究開発部) 大井悦雅 (13:30~14:10)

座長 永長 久寛 (14:10~15:30)

1H8-32 依頼講演 環境残留性有機フッ素化合物の分解・無害化反応の開発 (産総研環境管理技術) 堀 久男 (14:10~14:40)

1H8-35 口頭 C 講演 樹脂に含まれる六価クロム抽出法の開発 (東芝) ○村松美穂・沖 充浩・佐竹秀喜・竹中みゆき (14:40~15:00)

1H8-37 口頭 C 講演 希少元素を対象としたアミジノ尿素樹脂の金属捕獲能に関する研究 (東電大工) ○田中里美・清水 武・柴 隆一 (15:00~15:20)

1H8-39 インキュベーションタイム (15:20~15:30)

座長 坂東 博 (15:30~16:40)

1H8-40 招待講演 微小粒子状物質 (PM_{2.5}) の健康影響—疫学所見を中心に— (京大名誉) 内山巖雄 (15:30~16:10)

1H8-44 依頼講演 プラズマを用いた超経済的スーパークリーンディーゼル排ガス処理 (東京都市大工) 山本俊昭 (16:10~16:40)

座長 小堀 良浩 (16:40~17:50)

1H8-47 招待講演 大気中の PM_{2.5}測定法の現状について (日本環境技術協会) 三笠 元 (16:40~17:20)

1H8-51 依頼講演 PM_{2.5}に対応した自動車・石油共同研究の取り組み (石油産業活性化センター 自動車燃料研究部) 尾山宏次 (17:20~17:50)

P 会場

記念会館

3月26日午後

(12:30~14:00)

未来を創る環境・資源テクノロジー

1PB-001 イオン半導体および関連技術を基盤とする二次電池の再生に由来する環境適合型エネルギー貯蔵システムの開発 (イオン化学・都立産技高専品川) 荻野 仁○田村健治

1PB-003 環境適合型自動炭化装置を基盤とする廃棄物処理における地域別モデルの構築 (ヴィクトリー・都立産技高専品川) 昆 勝男・村松弘恵・松浦 豊○田村健治

未来産業を支えるバイオケミカルズ

グリーンバイオ

- 1PB-005** 相分離系変換システムによるリグノセルロース資源化の最近の動向 (三重大院生物資源) ○青柳 充・三亀啓吾・船岡正光
- 1PB-006** 米ぬか由来フェルラ酸を利用する機能材料の開発 (和歌山県工業技術センター) ○細田朝夫・森 一・三宅靖仁・多中良栄・大崎秀介・小畑俊嗣・築野卓夫・谷口久次
- 1PB-007** 米ぬか由来フェルラ酸を使用した新規アクリレートモノマーの開発 (和歌山県工業技術センター) ○森 一・細田朝夫・三宅靖仁・多中良栄・大崎秀介・小畑俊嗣・谷口久次・保田真吾・山田浩平・太田康二・伊豫昌己・栢木 實・築野卓夫・藤田宗紀
- 1PB-008** 米ぬか由来フェルラ酸を用いた新規紫外線吸収剤の開発 (和歌山県工業技術センター) ○三宅靖仁・細田朝夫・森 一・多中良栄・大崎秀介・森 めぐみ・小畑俊嗣・谷口久次
- 1PB-009** 無溶媒条件下直接重縮合によるポリ乳酸の合成 (京工織大創造連携センター) ○石嶋優樹・安孫子 淳
- 1PB-010** 重縮合によるカルボン酸末端スター型ポリ乳酸の合成とその物性 (京工織大創造連携センター) ○井口 誠・矢野真也・安孫子 淳
- 1PB-011** 二種の酵素を使用した動的光学分割による、新規な光学活性L-アミノ酸の製造法開発 (積水メディカル・東洋紡) ○熊谷伸弥・山田俊英・岩井幸夫・西矢芳昭

フロンティアバイオ

- 1PB-012** 血管内皮細胞増殖因子(VEGF)を検出するための機能性ペプチドの創製とナノビラーアレイ上への固定化の検討 (産総研・バイオ技術産業化センター) ○鈴木祥夫・横山憲二
- 1PB-013** 全自動マイクロチップイムノアッセイ装置「 μ ELISA」の開発 (マイクロ化学技研) ○大橋俊則・深堀 納・田澤英克・原野綾・江端智彦・馬渡和真・北森武彦
- 1PB-014** マイクロバイオデバイスを用いた血中DNAの高効率捕捉 (名大工) ○佐野竜輝・岡本行広・加地範匡・渡慶次 学・馬場嘉信
- 1PB-015** 細胞積層組織の構築と医療産業への展開 (阪大院工) ○松崎典弥・門脇功治・坂上佳代・明石 満
- 1PB-016** 創薬リード化合物としてのフラレーン (ビタミンC60) バイオリサーチ・県立広島大生命環境・慶大薬) ○平良 光・伊藤雅之・中村成夫・高橋恭子・増野匡彦・齋藤靖和・三羽信比古
- 1PB-017** 講演中止
- 1PB-018** バイオ計測を指向したポリマーで被覆された高分散性磁性微粒子の作製とその応用利用 (東工大院生命理工・東工大統合研究院) ○坂本 聡・畠山 士・岸 寛・半田 宏
- 1PB-019** 講演中止
- 1PB-020** α ヘリックスペプチドの細胞導入活性スクリーニング及び細胞死活性評価 (東工大院生命理工) ○菊池卓哉・臼井健二・高橋剛・三原久和
- 1PB-021** 細胞表面の糖鎖認識を制御するペプチドによるインフルエンザウイルス感染阻害 (慶大理工) ○松原輝彦・佐藤智典
- 1PB-022** 量子ドット内包リボソームの作製と特性評価 (名大工) ○中尾早織・岡本行広・水野正明・加地範匡・渡慶次 学・川西悟基・榊裕之・馬場嘉信
- 1PB-023** 新規基板素材によるマイクロアレイとMALDI-TOF-MSによる被捕捉分子のバイオ検出 (ハイベップ研究所) ○大山貴史・荘巖哲哉・平田晃義・軒原清史
- 1PB-024** 難分析サンプルの新規逆相カラムによる高効率分析分取 (ハイベップ研究所) ○軒原清史・宮里苗子・平田晃義・大山貴史

その他

- 1PB-025** 抗体医薬等の品質管理にむけた立体配座コード構造相同性解析技術の開発 (産総研) ○和泉 博
- 1PB-026** マイクロアレイ構築及び固相合成への応用を目的としたガラス基板及びシリカビーズ上リンカーの新規切断法の開発 (食総研) ○寺内 毅・今場司朗
- 1PB-027** 有機-無機ハイブリッドナノゲルの創製と機能 (東医歯大生材研) ○佐々木善浩・山根説子・秋吉一成
- 1PB-028** DNAの分子認識による三次元リボソームアレイの構築 (東医歯大生材研) ○阿部慶太・佐々木善浩・秋吉一成